

Broadmedia & Entertainment Inter BEE

Broadmedia & Entertainment Inter BEE

開催概要

名称 Inter BEE 2024

会期 11月13日(水)14日(木) 10:00 ~ 17:30
15日(金) 10:00 ~ 17:00

会場 幕張メッセ(千葉市美浜区中瀬2-1)

入場 無料(全来場者登録入場制)

後援 総務省、経済産業省(建制順)

NHK
一般社団法人日本民間放送連盟(JBA)
一般社団法人電波産業会(ARIB)
一般財団法人デジタルコンテンツ協会(DCAJ)
一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)(順不同)

協力

一般社団法人IPTVフォーラム
一般社団法人衛星放送協会
特定非営利活動法人映像産業振興機構
一般社団法人映像情報メディア学会
公益社団法人映像文化製作者連盟
一般社団法人カメラ映像機器工業会
公益社団法人劇場演出空間技術協会
一般財団法人最先端表現技術利用推進協会
3Dコンソーシアム
一般社団法人全国地域映像団体協議会
全国舞台テレビ照明事業協同組合
先進映像協会 日本部会
超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム
一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム
一般社団法人デジタルメディア協会
一般財団法人電波技術協会
一般社団法人特定ラジオマイク運用調整機構
一般社団法人日本アド・コンテンツ制作協会
協同組合日本映画撮影監督協会
一般社団法人日本映画制作適正化機構
一般社団法人日本映画テレビ技術協会
協同組合日本映画テレビ照明協会
協同組合日本映画・テレビ美術監督協会
一般社団法人日本オーディオ協会
一般社団法人日本音楽スタジオ協会
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟
一般社団法人日本CATV技術協会
公益社団法人日本照明家協会
一般社団法人日本動画協会
NPO法人 日本ビデオコミュニケーション協会
公益社団法人日本舞台音響家協会
日本舞台音響事業協同組合
一般社団法人日本ポストプロダクション協会
特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会
一般財団法人プロジェクトマッピング協会
マルチスクリーン型放送研究会 (50音順)

主催 一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)

運営 一般社団法人日本エレクトロニクスショー協会(JESA)



REVIEW 2024

Envisioning the Future of Content



www.inter-bee.com

REVIEW 2024

Table of Contents

Graphic Report

History of Inter BEE	02
Exhibition Categories	04
INTER BEE CINEMA	12
INTER BEE FORUM	16
INTER BEE EXPERIENCE	18
INTER BEE DX x IP PAVILION	20
INTER BEE IGNITION x DCEXPO	22
INTER BEE BORDERLESS	24
INTER BEE CREATIVE	26

Conference & Event Program

Opening & Keynote	28
Reception Party	29
INTER BEE FORUM	30
Exhibitor's Seminar	32
JBA Symposium of Broadcast Technology	33
INTER BEE EXPERIENCE	34
INTER BEE DX x IP PAVILION	35
INTER BEE IGNITION x DCEXPO	36
INTER BEE BORDERLESS	37
INTER BEE CREATIVE	38
INTER BEE CINEMA	39

Exhibition Report

Exhibitor List	40
Exhibit Map	42

Results

INTER BEE AWARD	48
Exhibitor Profile	49
Visitor Profile	50
Publication and Promotion	52



Media & Entertainment



進化するコンテンツビジネスとテクノロジー



60 回開催記念：未来を見据えた次の10年への挑戦が始まる



多様な層から 33,853 名が来場!



実装・拡大が進む AI 技術



1,058 社 / 団体が出展!



Photo by : Shigeharu Yoshihara
Akane Inagaki
Toshitaka Nakamura
SHIRO-FILM
Mitsuru Kobayashi

Design by : Katsumi Miyasaka



Inter BEE 60年の歩み



1965

60年の歴史が始まる

東京オリンピックの翌年に Inter BEE の前身「放送機器展」が、第 2 回民放技術報告会の併催展として虎ノ門・発明会館を会場にスタート。



2011

デジタルコンテンツの時代へ

地上デジタル放送完全移行で、デジタル活用が本格的に始まる。クロスメディア部門が新設され、デジタルコンテンツ時代のメディア総合展へと歩み出した。



1967

Inter BEE へと繋がる道

第 3 回より科学技術館に会場を移し、翌年に主催：電子機械工業会(現 JEITA)、運営：JESA、1974 年に NHK も協賛団体となる。



2014

開催 50 回を機に特別企画を新設

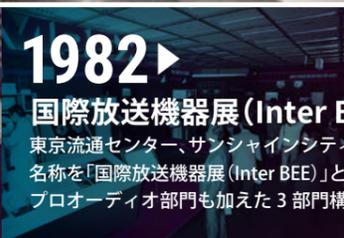
開催 50 回を迎え、INTER BEE EXPERIENCE X-Speaker と INTER BEE CONNECTED を新設。メディアとエンターテインメント両分野の発信と体験を強化。



1975

テレビの進化と共に成長へ

特別展「これからの放送—テレビ多重放送」の公開実験に注目が集まり、出展者数・来場者数、海外からの参加も飛躍的に増加。



1982

国際放送機器展 (Inter BEE) に

東京流通センター、サンシャインシティと会場を移し展示を拡大。名称を「国際放送機器展 (Inter BEE)」とし、プロオーディオ部門も加えた 3 部門構成となる。



2016

4K/8K、AI、XR、5G が変えるコンテンツの未来へ

更に特別企画を強化し開催規模拡大。2018 年より DCEXPO の同時開催も始まり、新しいコンテンツ体験や放送と通信の融合によるメディア新時代の到来。



1990

ワールドクラスの展示会へ

会場を幕張メッセに開催規模を大幅に拡大。1998 年には来場者数が 3 万人を超え、この分野で米国・NAB、欧州・IBC に並ぶ展示会となった。



2000

デジタル化による変革と進化

放送のデジタル化で大きな変革の時代が到来。さまざまなデジタル機器が登場し、放送業界をはじめ関連産業とそのテクノロジーの進化が始まる



2007

メディアの広がりと共に

メディアの広がりを背景に「Inter BEE」の名称を前面に出した発信を開始。2008 年からはプロライティング部門が新設され、分野拡大を進めた。



2020

メディア&エンターテインメント産業の転換点

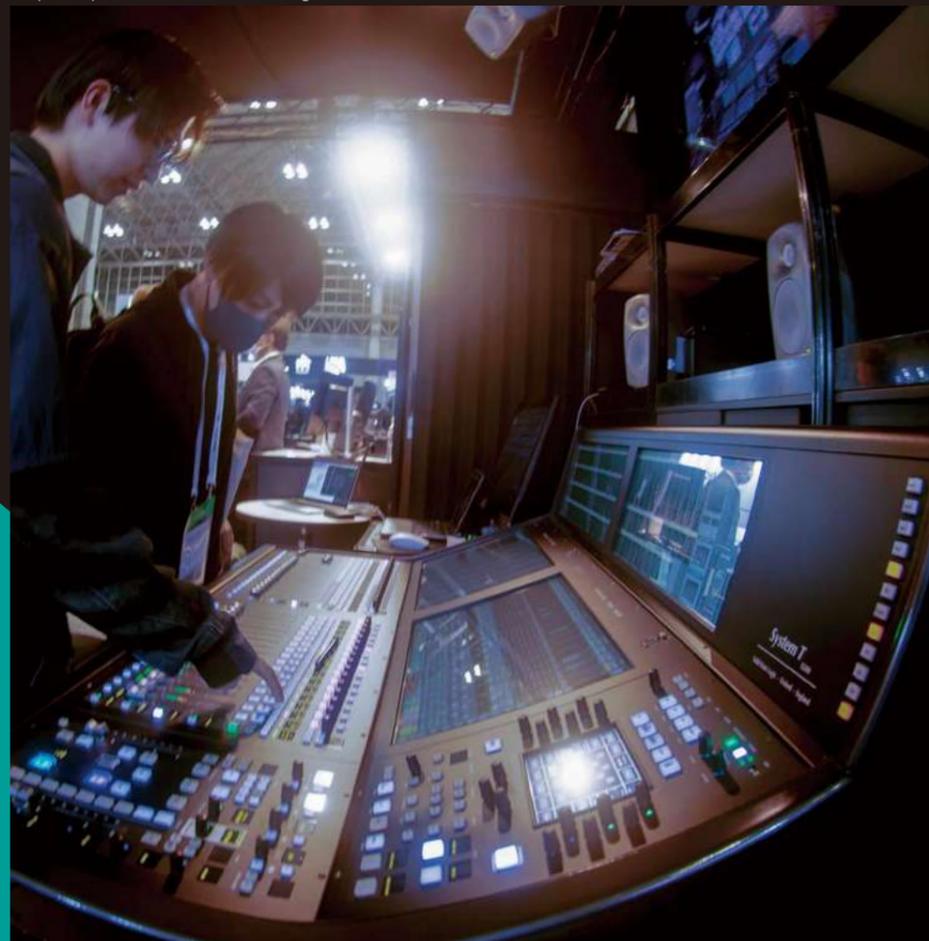
新型コロナ対策として、2020 年は初めての試みとなるオンライン開催。世界的にネットやバーチャル環境でのコンテンツ制作と表現・配信が飛躍的に進む。



2024

次の 10 年への扉を開く

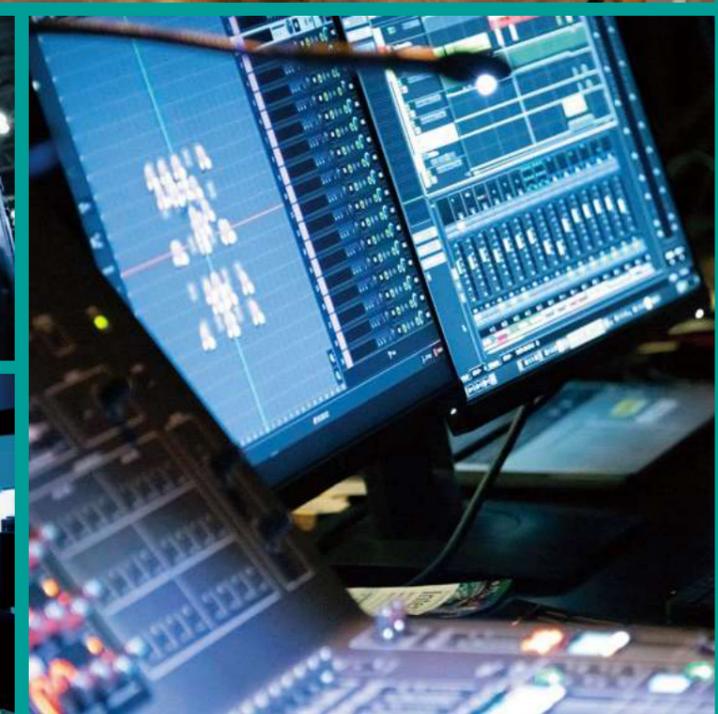
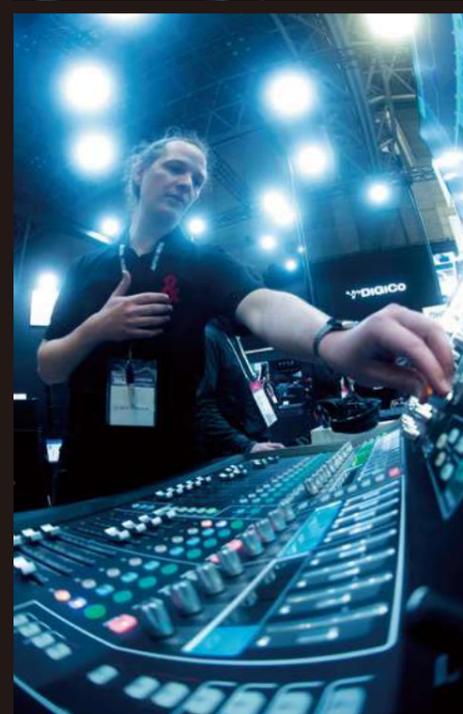
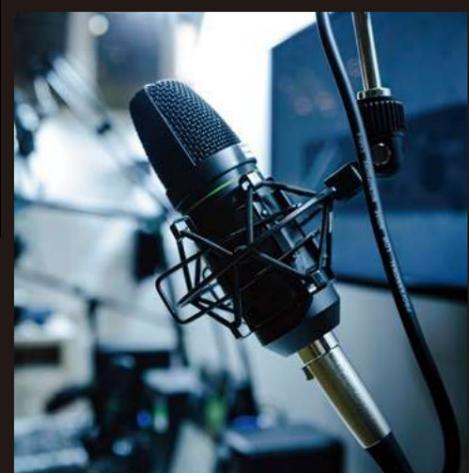
Inter BEE は 60 年の歴史の積み重ねを活かしながら、メディア&エンターテインメント産業を網羅する国内最大の展示会として、次の 10 年に向けた新たな扉を開きます。



Professional Audio

プロオーディオ部門

コンテンツ制作から配信、ライブ、エンターテインメント
関連施設の新設等と活況の続いている音響分野。
今回のプロオーディオ部門の出展者数は272社、小間数は338小間と
昨年よりも更に増加した。昨年に引き続きイマージブオーディオシステムの
体験展示を数社が競ったのを始め、各種音響関連技術や製品・システムの進化を
発信する多様で充実した出展展開となった。





エンターテインメント / ライティング部門

昨年より強化してきたエンターテインメント / ライティング部門には、大型ディスプレイや照明機器等の展示が増え、出展者数は100社、小間数は159小間となって出展規模が拡大した。特に INTER BEE IGNITION×DCEXPO 内のスタートアップ&ユニバーシティエリアを始めとした先端的な表現技術には、これからのエンターテインメントの可能性を示す場として多くの来場者の注目が集まった。



Entertainment / Lighting





映像制作 / 放送関連機材部門

映像関連技術・製品・システム・ソフトが一堂に会する国内最大規模の展示空間として、今回の出展者数は565社、小間数は1,193小間。昨年に続くバーチャルプロダクション関連や、60回開催を機に実施された特別企画 INTER BEE CINEMA を含むハイエンド映像制作やコンテンツ制作関連機材を筆頭に、年々広がるユーザと市場に向けた多種多様な展示に熱心な来場者が数多く訪れ最新技術を体験した。

Video Production / Broadcast Equipment





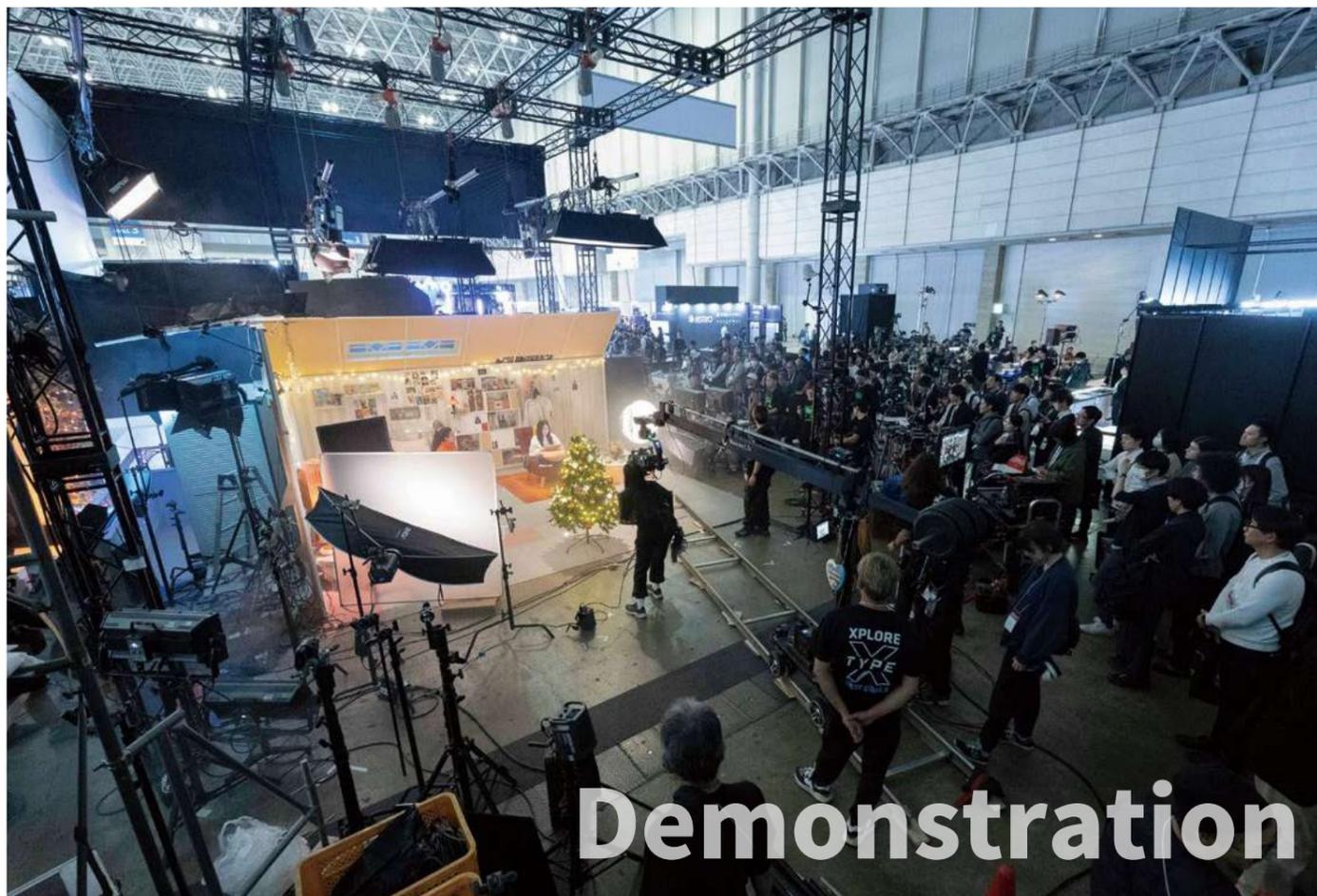
メディア・ソリューション部門

映像コンテンツ制作に生成 AI や業務効率化 AI の活用が本格化し始めるなど、コンテンツとメディア環境が急速に進化の道を歩み出した今年、出展者数は 121 社、小間数 121 小間と順調に規模も拡大した。展示内容も AI、クラウド活用、配信ソリューション、動画コンテンツ運用管理、各種映像関連システムなど、映像・動画・放送・配信の活用の幅を広げる様々な展示が展開された。



INTER BEE CINEMA

映像・映画の次世代コンテンツメーカーに向けて発信された、リアルな体験型シネマコミュニティ。

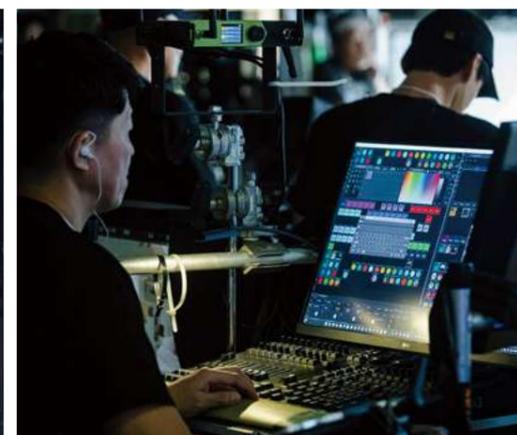


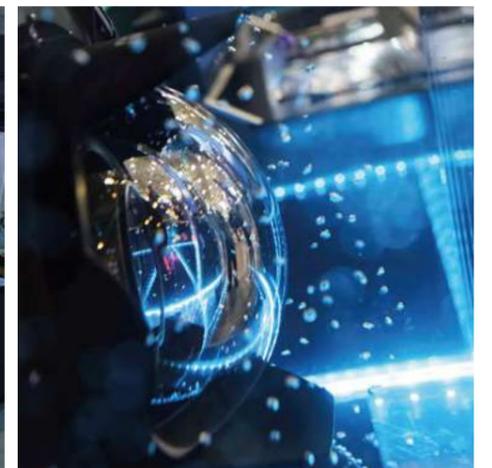
日本国内の映画産業は興行収入・入場者数とも順調に回復しており、興行収入で見るとコロナ禍前の水準にまで戻っている。世界的に見ても日本の映画市場は世界第3位であり、スクリーン数も増えており、多くの人たちが映画コンテンツを支持している状況が伺える。また2024年の日本映画のトピックでは、「ゴジラ-1.0」が日本映画で初めて米アカデミー賞視覚効果賞を授賞するなど、邦画作品に対する関心がより一層高まった。

そんな映画産業動向の中でInter BEEの60回開催を機に実施した特別企画が「INTER BEE CINEMA」である。そのコンセプトは、日本の映画産業全体の更なる進化と活性化に貢献するのももちろんだが、特に映画の制作技術にフォーカスし、その最前線から日本の映画コンテンツ制作の現在と最新動向を発信し次世代のコンテンツメーカーに繋ぐことにある。そして、それを象徴するデモとして行ったのがスペシャルイベントである「ライブ撮影ショー」だ。このショーは日本映画撮影監督協会(JSC)、日本映画テレビ照明協会(JSL)、日本映画テレビ美術監督協会(APDJ)のご協力により、映画制作の第一線で活躍するプロフェッショナルが、本格的に再現したスタジオ環境で実際に撮影を行うもの。数多くの映画で撮影監督を務めた山本英夫氏や照明技師の中須岳士氏を招いたリアルな撮影デモには、多くの来場者が集まって熱い視線が注がれた。

また、映画制作関係者に向けた展示としては、シネマカメラにシネマレンズを装着してルックテストのできるレンズバーや、様々なハイエンドプロダクトが集まるプロダクト展示エリアも設けられ、オープンステージの企画セッションでは3日間を通じて多くの聴講者を集めた。

Date:	Nov. 13-15
Place:	Exhibition Hall 3
Area:	493 sqm
Capacity of Main Stage:	50 seats
The Number of Sessions:	18 sessions
The Number of Speakers:	18 speakers
The Number of Audiences:	798 audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	20 exhibitors
The Number of Equipment Cooperation:	8 exhibitors





INTER BEE FORUM

メディア激動と変革の先に生まれるもの、
10年先の未来を創る扉を開く多角的な発信。



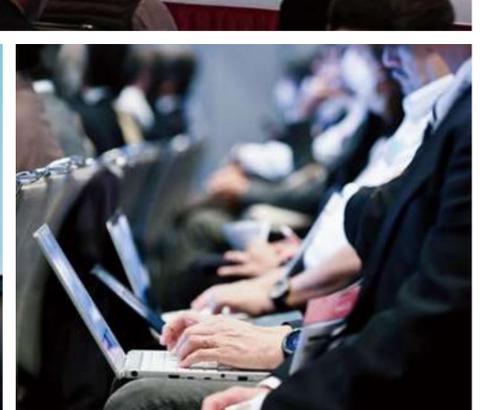
今年のINTER BEE FORUMは、国際会議場を会場に基調講演9セッション、特別講演8セッションを中心に、出展者セミナー 12セッション(オンライン含む)を加えた計29セッションが行われ、いずれのセッションも多くの聴講者が集まり熱気溢れる場となった。

主催者挨拶からスタートしたOpening & Keynoteでは、総務省情報流通行政局長 豊島暢氏による「放送政策の最新動向」と日本放送協会技術局長 伊藤寿浩氏による「放送100年、先端テクノロジーで描くメディア新時代」に加え、経済産業省商務情報政策局 商務・サービスグループ文化創造産業課長補佐 浅見雄佑氏による「デジタル技術と日本のコンテンツ産業」の3つのセッションによるオープニング基調講演が行われた。

各部門と特別企画からは、エンターテインメント基調講演「OTTとコンテンツビジネス」、IPTV FORUM 企画基調講演「知っておきたい！放送を取り巻くCTVの最新技術動向」、INTER BEE BORDERLESS 基調講演「放送の未来像を配信の“現場”から考える」、INTER BEE DX×IP PAVILION 基調講演「少人数で想定外に備える放送技術のIP化を考える」、音響部門基調講演「AoIPの現状と音声制作のクラウド化とは?」、INTER BEE IGNITION×DCEXPO 基調講演「『ゴジラ-1.0』山崎貴監督&『計算機自然神社』も話題の落合陽一氏が登壇」、INTER BEE CREATIVE 基調講演「時代劇が魅せる、日本のコンテンツ産業の未来」が行われた。

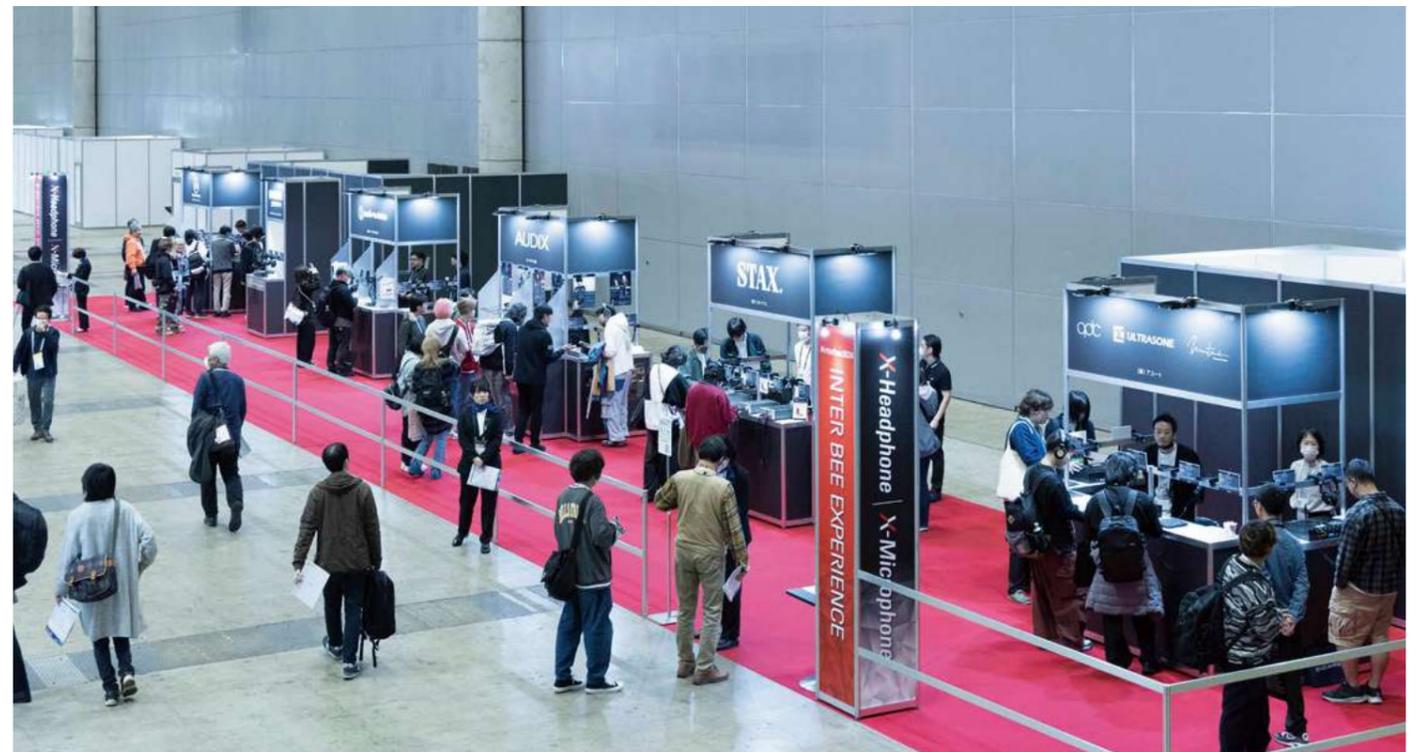
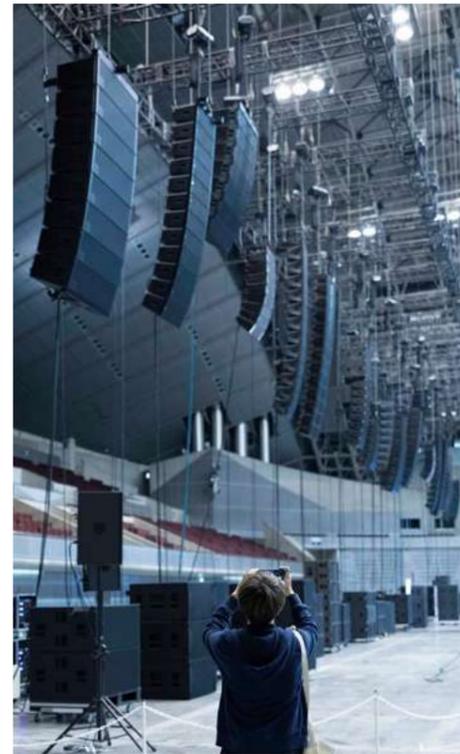
エキスパートが各分野の最前線から最新動向を発信する特別講演も含め、どのセッションも激しく動く変革の波の中から確かな未来像を探る発信が行われ、3日間に渡り多くの聴講者が熱心に耳を傾けた。

Date:	Nov. 13-15
Place:	International Conference Hall
Area:	1,277 sqm (4 Rooms)
The Number of Sessions:	29 sessions
The Number of Speakers:	107 speakers
The Number of Audiences:	4,936 audiences (Total)



INTER BEE EXPERIENCE *X-Speaker* *X-Headphone* | *X-Microphone*

市場活性化に後押しされ、音のテクノロジーも進化を続ける、
今回も盛況となったハイクオリティな音響体験。



2024年のライブエンターテインメント市場は、公演数、動員数、市場規模のいずれもがコロナ禍前の2019年を上回る見通しで(2024年上半期実績より)、回復傾向は現在も継続している。また、2023年にオープンした「Kアリーナ」などの大規模会場の新設も続き、2024年には横浜の「横浜BUNTAI」や船橋の「LaLa arena TOKYO-BAY」がオープン。更に2025年には、東京・お台場、神戸、名古屋と全国各地でアリーナ施設が開業を予定している。その多くは、ライブエンターテインメントとスポーツが効果的に両立する施設であり、共にオーディエンスが“体験”を共有する場として音響も重要なファクターに位置付けられている。

こういった市場の活性化に後押しされ、今年のINTER BEE EXPERIENCE X-Speakerでは3カテゴリ・13製品が、3日間で計26回の体験デモを展開した。迫力溢れる音響体験を提供する大型ラインアレイスピーカーはもちろんだが、今回注目されたのは小型ラインアレイや床置きスタンド・ラインアレイだ。そのサイズからの想像を超える強力なサウンドは、中・小規模会場での質の高い体験を牽引するものとして、ライブエンターテインメント分野での産業と市場を駆け、層をより厚くするカテゴリとして期待される。

一方で、もうひとつのEXPERIENCEであるX-Headphone/X-Microphoneは、6ブースでヘッドフォン製品7ブランド、マイクロフォン製品3ブランドが出展。関連業界のプロフェッショナルだけでなく音響・映像を学ぶ学生が800名以上も来場し、近い将来に産業界を支える人材が高品質な製品を自由に体験できる場として活況を呈していた。

X-Speaker

Date:	Nov. 13-15
Place:	Event Hall
Area:	3,098 sqm (Arena)
The Number of Products Brands:	11 brands, 13 Products
The Number of Presentations:	26 presentations
The Number of Audiences:	5,175 audiences (Total)

X-Headphone/X-Microphone

Date:	Nov. 13-15
Place:	Exhibition Hall 2
Area:	148.5 sqm
The Number of Products Brands: Headphones	7 brands
The Number of Products Brands: Microphones	3 brands
The Number of Visitors	3,525 audiences (Total)

INTER BEE DX × IP PAVILION

MoIPを具体的に示しコンテンツ制作と放送のDXを目指す、
パワーアップした企業連携が示した未来へのアプローチ。



国内放送局のIP化を支援し推進するための展示企画として、具体的なIP環境を連携デモによって展開して来たIP PAVILION。今回より、メインテーマの「IP」に加えて「AI」「Cloud」「Security」もテーマとし、より効率的な次世代コンテンツ制作を提案するために、「INTER BEE DX×IP PAVILION」としてパワーアップした特別企画となった。

その大きな目的は、コンテンツ制作の高度化と放送環境のDX化を推進することであり、映像や音声などのコンテンツをIPネットワークで通信する技術であるMoIP(Media over IP)により進化する未来像を、より具体的に示すことである。そのために今回は、IPシステムの可視化をテーマとしてSDI技術者向けにIPとの違いを実例展示で示す「MoIP基礎技術展示」、テレビ北海道で実際に運用されているMoIPマスター、スタジオ設備を使用して会場からのリモート制作を体感できる「テレビ北海道MoIP設備のリモート体感」を展開した。また、障害及び復旧を疑似体験できる「MoIPにおける障害及び復旧の体験」を展示し、更にはAI活用などのDX化により2030年頃のシステムをイメージした「コンテンツ制作のDXを実現する5年後の世界」の展示も行った。

今回の実施には38社が出展し、またアドバイザーと企画・協力が16社・団体が参加。Inter BEE開催の1ヶ月前より4回に渡り、準備勉強会としてローカル局でのIP導入の具体的な事例を公開し、Inter BEE会場では恒例のリー技術セミナーも行われた。これまで培って来た参加企業間の垣根を越えた連携を活かしながら、更に進化した展開によりIP技術とコンテンツ制作のDXの可能性を提案し、未来の放送に具体的にアプローチする場となった。

Date:	Nov. 13-15
Place:	Exhibition Hall 3
Area:	434 sqm
The Number of Participant Companies:	38 companies
The Number of Adviser:	5 companies
The Number of Planning, Support:	11 companies
The Theme of Keynote Speech:	Exploring Broadcast Technology Responses for Unexpected Situations with a Small Team.
The Number of Sessions:	42 sessions
The Number of Audiences:	1,176 audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	11 exhibitors



INTER BEE IGNITION × DCEXPO

ますます加速度的に変化する表現とメディア環境、
多様なコンテンツ資産が先端テクノロジーで進化する。



日本の表現コンテンツは現在進行形で数多く創造され、同時に過去から積み重ねられて来たメディアコンテンツアーカイブや地域発のローカルコンテンツなど、多様な資産に溢れている。それらコンテンツ資産が先端的表現テクノロジーによってどのように進化し、また地域、国内といった枠を超えてどのように世界へ発信され拡張して行くのか。今回のINTER BEE IGNITION×DCEXPOは、そういった表現とメディアの最前線から見える未来を多角的に探る場であった。

オープンステージの企画セッションでは、テレビの映像アーカイブの再利用と可能性や未来に向けたメディアの役割、世界に発信されるローカルコンテンツの可能性と課題、XR技術による空間のメディア化が示す放送メディアの未来など、表現・メディアの変化と進化の可能性が様々な視点から議論された。

展示エリアでは、昨年からはまった「スタートアップ&ユニバーシティエリア」を含む41ブースが集まり、表現テクノロジーの最前線に触れ体験する機会として多くの来場者を集めた。オープンステージにおいても、Vライバーが進行したスタートアップ企業と大学の出展者によるピッチイベントや、未来のメディア共創に挑むスタートアップの発信にテレビ局が参加するピッチイベントなど、スタートアップと大学研究機関からの様々な発信が展開。また近年、映像コンテンツ制作の一翼を担う重要技術となったリアルタイム・バーチャルプロダクションのデモも行われ、まさに加速度的に変化する表現とメディア環境を体現する特別企画となった。

Date:	Nov. 13-15
Place:	Exhibition Hall 6
Area:	600sqm
The Theme of Keynote Speech:	Talk Session: Director Takashi Yamazaki of GODZILLA Minus One and Yoichi Ochiai, Known for "Computational Nature Shrine,"
Capacity of Main Stage:	50 seats
The Number of Sessions:	15 sessions
The Number of Speakers:	50 speakers
The Number of Audiences:	1,114 audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	41 exhibitors



INTER BEE BORDERLESS

メディアの境界線がなくなり、ビジネスが縦横無尽に広がる時代。フィールドへ広げ、コンテンツの多様な可能性を議論する場に。



名称をCONNECTEDから変更して2年目を迎え、INTER BEE BORDERLESSはますます活況を呈した。セッション数も大きく増やし、7つの企業・団体の展示で3日間大勢の来場者で賑わった。

国際会議場で行われた基調講演は「放送の未来像を配信の“現場”から考える」と題し、放送局として配信に取り組む各界の登壇者による熱い議論が展開された。オンラインも含めると聴講者は900名を超え、業界に次の時代への手ごかりを与えた。

オープニングでは3日間で11のセッションが開催され、毎日盛況となった。今年は1日目は広告ビジネス、2日目は放送局の将来、3日目は新しい領域を主題にした企画が中心となり、延べ聴講者数は2,038名。放送局関係者を中心に、インターネット関連、コンテンツ配信事業者、映像制作者から学生まで幅広い層が聴講した。

中でも盛り上がったのが2日目に開催した、ローカル局の経営を「卒業」したレジェンドのお三方によるセッション。ローカル局の今後もテーマにしたホットな議論で会場は沸いた。またこの日は夕方、終了時間をはみ出して「After Hoursセッション」も行い、全国の放送局からの参加者同士が交流する場になった。

また、3日目の「個人メディア化」セッションも、目新しいテーマとして非常に多くの聴講者を惹きつけた。新しい方向を示す企画として、BORDERLESSの名称にふさわしいセッションとなった。

このセッションが象徴するように、BORDERLESSでは放送の変革を軸としながらも、その延長線上に多様な可能性を伸ばしていくべきだろう。次の飛躍に向けて、未知の領域へ意欲的に企画の幅を広げていきたい。

Date:	Nov. 13-15
Place:	Exhibition Hall 7
Area:	548 sqm
The Theme of Keynote Speech:	Considering the Future Vision of Broadcasting from the Front Line of Streaming
Capacity of Main Stage:	205 seats
The Number of Sessions:	12 sessions
The Number of Speakers:	43 speakers
The Number of Audiences:	2,549 audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	7 exhibitors



INTER BEE CREATIVE

バーチャルプロダクションからAI活用へ、
日本発コンテンツクリエイティブの進化を示した3日間。



2024年、日本のコンテンツクリエイティブにおいて大きな話題となったのは、米国映画界で最高の栄誉とされる「第96回アカデミー賞」で、日本の作品として初めて『ゴジラ-1.0』が視覚効果賞を受賞したこと、そして米国テレビ業界の権威ある「第76回エミー賞」で『SHOGUN 将軍』が作品賞を含む史上最多の18部門を受賞する快挙を達成したことだ。今回のINTER BEE CREATIVEは、こうした日本オリジナルのコンテンツが、最先端の制作技術を背景に今後どのように進化していくのか、その未来を示唆する重要な場となった。

日本発の強力なコンテンツジャンルと言えば、時代劇と並んで直ぐに思い浮かべられるのがアニメとゲームである。今回の企画セッションでは、「ガンダム」という世界的に著名なコンテンツにゲームエンジンである「Unreal Engine 5」が制作に用いられたアニメ制作の進化、あるいは、ゲームコンテンツである「龍が如く」の映像ドラマ化におけるVFXの最前線など、日本が誇るコンテンツジャンルが最先端テクノロジーによって世界を魅了する映像コンテンツとなる道筋が発信された。また、コンテンツ制作技術の重要トピックとして挙げられるのが、いよいよ本格化の段階に入ったAI活用である。企画セッションでは、生成AIで加速するデジタル映像制作の最前線が発信され、また開催2日目の14日に行われた「Adobe Day 2024」では、アドビが提供する生成AIの最新情報と活用の可能性が、様々な角度から紹介された。

展示エリアでは、昨年に引き続き動画広告分野の各社がアピールする「Video Marketing」も展開され、領域を拡大し益々進化する映像コンテンツクリエイティブの世界に多くの来場者が集まった。

Date:	Nov. 13-15
Place:	Exhibition Hall 8
Area:	405 sqm
The Theme of Keynote Speech:	The Future of Japan's Content Industry, Captivated by Historical Drama
Capacity of Main stage:	102 seats
The Number of Sessions:	19 sessions
The Number of Speakers:	38 speakers
The Number of Audiences:	2,120 audiences (Total)
The Number of Exhibitors:	10 exhibitors

Opening & Keynote



60回開催の幕開けを飾る初日のオープニング&キーノートスピーチ

開催初日の 11月 13日 (水) 午前 10時より幕張メッセ 国際会議場において、Opening & Keynote が開催されました。
 Inter BEE の 60 回目の開催を飾るオープニングセレモニーとして、一般社団法人電子情報技術産業協会の津賀 一宏会長による主催者挨拶が行われました。その後のオープニングキーノートスピーチでは、総務省 情報流通行政局長の豊嶋 基暢氏による「放送政策の最新動向」、日本放送協会 技術局長の伊藤 寿浩氏による「放送 100 年、先端テクノロジーで描くメディア新時代」、そして経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ文化創造産業課長補佐の浅見 雄佑氏による「デジタル技術と日本のコンテンツ産業」の講演が行われた。会場には多くの来場者が集まり、それぞれの講演に熱心に耳を傾けていました。

「60 回目の節目を迎え、次の 10 年に向けた新たな挑戦」

本イベントの開催にあたりまして、ご後援をいただいております関連省庁や各種団体をはじめ、関係機関の多くの方々にご協力をいただきました。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。Inter BEE は 1965 年に始まった「国際放送機器展」を前身として、音と映像、そして通信という放送技術の展示会として歴史を積み重ねてまいりました。近年では、メディア産業の新たなユーザーエクスペリエンスを提示する展示会として、メディアの総合イベントへと進化しつつあることは皆様ご存じの通りです。放送のプロフェッショナルの皆様はもちろん、メーカーやライブエンターテインメント業界の方々など、幅広い分野の技術者・クリエイター、そしてステークホルダーが一堂に会する展示会となっております。

60 回目の開催を迎えた本年は、次の 10 年に向けまして新たな挑戦をする年と位置付け、優れた展示案件を表彰する「INTER BEE AWARD」を創設、映画制作技術にフォーカスした特別企画「INTER BEE CINEMA」を新設するなど、さらなる進化・拡大に取り組んでまいりました。放送技術や通信の進化と同じように、Inter BEE も決して進化を止めることなく、これからも皆様と共に歩んでまいりたいと考えています。ご来場の皆様におかれましては、1,000 社を超える出展者による展示や多彩なコンファレンスを擁する本年の Inter BEE を存分にご活用いただき、今後のビジネスに大いに生かしていただきたいと思います。最後になりますが、本イベントがすべての出展者とご来場者の皆様にとって、より良いビジネス機会を創出する場となることを祈念するとともに、メディア・コンテンツに関わる産業、文化、そして社会がさらに発展することを願いまして、私の挨拶とさせていただきます。



一般社団法人電子情報技術産業協会
津賀 一宏



総務省 情報流通行政局長 豊嶋 基暢 氏



日本放送協会 技術局長 伊藤 寿浩 氏



経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ文化創造産業課長補佐 浅見 雄佑 氏

Reception Party



5年ぶりのレセプションパーティーが 60 回目の開催を華やかに祝福

開催初日の夕刻には、60 回目の開催を記念したレセプションパーティーが、5 年ぶりに盛大に行われました。会場には熱気があふれ、関連団体、出展企業、ユーザー、プレス等の多くの業界関係者が一堂に会し、活発なネットワーキングも繰り広げられました。また、初めての施策となる「INTER BEE AWARD」の表彰式も同時に開催され、歴史あるイベントの新たな挑戦を象徴する場となりました。

「60 回目の節目を迎え、新たな価値と未来を創造する Inter BEE」

Inter BEE は本年で 60 回目の開催を迎えることができました。国際放送機器展としてスタートしました Inter BEE は、近年はコンテンツを中核に作る、送る、受けるすべてを網羅したメディアとエンターテインメント産業の総合イベントへの進化に取り組み、今や日本最大のメディア総合イベントとして評価されるまでに成長してまいりました。
 60 回目の今年は、次の十年に向けた新たな一歩を生み出す年と位置づけまして、新しい価値の創出と業界のさらなる活性化を目指し、INTER BEE AWARD を設置いたしました。さらに今年は、INTER BEE CINEMA など、いろいろな新しい取り組みにも挑戦しています。
 メディアの変革とともに動画制作のニーズはさまざまな産業分野に広がっており、コンテンツ技術の動向やエンターテインメントのさらなる可能性など、今後も新たなビジネス、新たな形のコンテンツ創造に向けて、多様な皆様が集う交流の場、そしてビジネス創出の場となるべく、皆様のお力を借りながら、さらなる十年に向けて力を向けてまいりたいと思っております。



一般社団法人電子情報技術産業協会
理事
執行 裕子



千葉県副知事
黒野 嘉之 氏



IBC ディレクター
スティーブ・コノリー 氏

「幕張から感謝と Inter BEE のさらなる発展への祈念」

この度の Inter BEE 2024 の開催、誠にありがとうございます。先ほどの動画を拝見し、また本日この会場を視察させていただき、Inter BEE の 60 年の歴史と最先端の技術をギュッと拝見させていただきまして、皆様の歴史とそれから過去を振り返った上での、汗と涙の結晶を垣間見た気がいたしました。大変に感銘を受けました。
 そしてここ幕張での開催は、おかげさまで 34 回ということでございます。この幕張メッセを長く使っていただき、幕張メッセの顔とも言える展示会の一つとなっていたことに改めて感謝申し上げます。
 この幕張メッセは、電車あるいは空港といった交通アクセスが非常に良いところですので、この強みを生かし、そしてまた皆様のお声を伺いながら、少しでも使いやすい環境にすべく努力していきたいと思っております。
 今年の初めに、能登半島地震という大変痛ましい災害がございました。千葉県も房総の半島ということで、半島ならではの災害という課題を我々も学んだところがございます。そういった中で、災害時の情報発信ですとか、あるいは被害予測、防災についての DX などに一層力を入れていかなければいけないということ、さまざまな試行錯誤しており、お集りの企業様には、ぜひ公共の世界のご活用といったところに目を向けていただければと思っております。
 今回の Inter BEE の成功と、そしてお集まりの皆様のご健勝を祈念いたしまして、簡単ですが、私のご挨拶とさせていただきます。

まず初めに、主催者の皆様、関係者の皆様、そしてチームの皆様、60 周年おめでとうございます。私たち IBC は、自分たちを「少し若い(まだ 57 歳の)ヨーロッパのいとこ」と思っています。IBC は、Inter BEE との長年にわたる関係を非常に大切にしており、2024 年もこうして再びこの場で皆様とともにこの記念すべき周年をお祝いできることは大変光栄です。



INTER BEE FORUM

11月13日(水)

KN-131 基調講演 国際会議室

Inter BEE 2024 Opening & Keynote

主催者あいさつ：一般社団法人電子情報技術産業協会 会長

オープニング基調講演1： 放送政策の最新動向

総務省 情報流通行政局長
豊嶋 基暢 氏

オープニング基調講演2： 放送100年、先端テクノロジーで描く メディア新時代

日本放送協会 技術局長
伊藤 寿浩 氏

オープニング基調講演3： デジタル技術と日本のコンテンツ産業

経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ文化創造産業課長補佐
浅見 雄佑 氏

10:00
11:30

KN-132 基調講演 国際会議室

新たなメディア業界を切り拓く：ここから始まる旅

IABM APAC Council
Alex Timbs 氏

13:30
14:30

KN-133 エンターテインメント部門基調講演 国際会議室

OTTとコンテンツビジネス

DAZN Japan CEO兼アジア事業開発
笹本 裕 氏

15:00
16:00

SP-132 特別講演 201会議室

欧州に見る放送メディア技術と制度デザイン

パネリスト：一般社団法人日本民間放送連盟 研究所 研究統括 木村 幹夫 氏
BBC放送通訳 清水 健 氏

MediaTech ELSI R&D 代表
園田 公一 氏

モデレーター：月刊ニューメディア 編集部 ゼネラルエディター 吉井 勇 氏

13:00
14:00

SP-133 特別講演 201会議室

radiko技術15年から見た5年後の技術展望

パネリスト：株式会社radiko 最高技術顧問 香取 啓志 氏
On-Hertz CEO & Co-Founder Benjamin Lardinoit 氏

モデレーター：月刊ニューメディア 編集部 ゼネラルエディター 吉井 勇 氏

14:30
15:30

11月14日(木)

KN-141 基調講演 国際会議室

IPTV Forum企画：知っておきたい！ 放送を取り巻くCTVの最新技術動向

IPTV Forum 開会挨拶
一般社団法人IPTVフォーラム 代表理事 江崎 浩 氏

・コンテンツ流通行政に関する最新動向

総務省 情報流通行政局 情報通信作品振興課 課長
飯村 由香理 氏

・パネルディスカッション

パネリスト：総務省 情報流通行政局 情報通信作品振興課 専門職 岩井 義和 氏
一般財団法人 マルチメディア振興センター 調査研究部 研究主幹 飯塚 留美 氏
株式会社IPG COO 木戸 直喜 氏
NHK放送技術研究所 ネットサービス基盤研究部 部長 松村 欣司 氏

モデレーター：一般社団法人IPTVフォーラム 技術委員会 副主査 (株式会社フジテレビジョン) 伊藤 正史 氏

10:30
12:30

KN-142 INTER BEE BORDERLESS 基調講演 国際会議室

放送の未来像を配信の“現場”から考える

パネリスト：株式会社TVer 取締役 須賀 久彌 氏
株式会社フジテレビジョン 技術局技術戦略部 チーフエンジニア 伊藤 正史 氏
中京テレビ放送株式会社 技術DX局専門局長 大橋 道生 氏
北海道放送株式会社 メディア戦略局長 滝沢 淳一 氏

モデレーター：青山学院大学 総合文化政策学部 内山 隆 氏

13:00
14:30

KN-143 INTER BEE DX×IP PAVILION 基調講演 国際会議室

少人数で想定外に備える放送技術のIP化を考える

パネリスト：北陸朝日放送株式会社 代表取締役社長 能田 剛志 氏
北陸放送株式会社 技術局次長 兼 制作技術部部长 塚野 誠司 氏

株式会社テレビ北海道 技術・DX推進局長 高橋 康二 氏
INTER BEE DX×IP PAVILION 企画メンバー ソニーマーケティング株式会社 B2Bプロダクツ&ソリューション本部 B2Bビジネス部統括部長 小貝 肇 氏

Interop ShowNet NOCチームメンバー 国立天文台 情報セキュリティ室 先任研究技師 遠峰 隆史 氏

モデレーター：月刊ニューメディア 編集部 ゼネラルエディター 吉井 勇 氏

15:00
17:00

Media over IP コンソーシアムの設立について ～ 共創で実現する放送DX ～

ソニーマーケティング株式会社 B2Bプロダクツ&ソリューション本部 B2Bビジネス部統括部長 小貝 肇 氏
一般社団法人電子情報技術産業協会 市場創生部 部長 志村 昌宏 氏

SP-141 特別講演 201会議室

『WMAS』新技術のワイヤレスマイク・IEMとは ～ Wireless Multi-Channel Audio Systemsの概要と可能性 ～ WMAS : Wireless Multi-Channel Audio Systems

パネリスト：Sennheiser electronic SE & Co. KG Pro Audio Manager Technical Application Engineer Volker Schmitt 氏
ゼンハイザージャパン株式会社 Pro Audio Technical Application Engineer 藤井 宏幸 氏
SHURE INCORPORATED Associate Director Product Management Michael Johns 氏
シュア・ジャパン株式会社 リージョナル・プロダクト・マーケティング アソシエイトマネージャー 田中 真梨恵 氏
ソニー株式会社 共創戦略推進部門 イメージング商品企画2部1課 豊泉 裕章 氏

モデレーター：株式会社テレビ朝日 技術局設備センター 阿部 健彦 氏

10:30
12:00

SP-142 特別講演 201会議室

放送・配信のラウドネスの現状について

パネリスト：株式会社TBSテレビ メディアテクノロジー局 制作技術統括部 中村 全希 氏
株式会社文化放送 取締役 奥沢 賢一 氏
ソニー PCL株式会社 コンテンツサービス部門 ポストプロダクション部 ポストプロダクション1課 サウンドスーパーバイザー 喜多 真一 氏

モデレーター：三友株式会社 営業事業部 サウンドスーパーバイザー 村越 宏之 氏

13:00
14:10

SP-143 特別講演 201会議室

eスポーツ／ゲームと配信について

株式会社サードウェーブ E5esports Worksイベント事業部 部長 町山 雄大 氏

14:30
15:30



11月15日(金)

KN-151 音響部門基調講演 国際会議室

AoIPの現状と音声制作のクラウド化とは？

パネリスト：株式会社メディアインテグレーション シニアテクノロジー・オフィサー 前田 洋介 氏
Audinate Director of Sales, Japan 梅尾 達也 氏
ヒビノ株式会社 ヒビノマーケティングDiv. ブロードキャスト営業部 ブロードキャストチーム オーディオネットワークスペシャリスト 大石 悟 氏

モデレーター：株式会社テレビ朝日 技術局設備センター 阿部 健彦 氏

10:30
12:00

KN-152 INTER BEE IGNITION×DCEXPO 基調講演 国際会議室

トークセッション：『ゴジラ -1.0』山崎貴監督& 『計算機自然神社』も話題の落合陽一氏が登壇

◆第1部
落合陽一 × 河口洋一郎が語る「メディア・アートとAIの未来」
メディアアーティスト 落合 陽一 氏

◆第2部
山崎貴 × 河口洋一郎が語る「特撮の魅力」
映画監督 山崎 貴 氏

モデレーター：アーティスト/東京大学名誉教授 河口 洋一郎 氏

12:30
14:05

KN-153 INTER BEE CREATIVE 基調講演 国際会議室

時代劇が魅せる、日本のコンテンツ産業の未来

日本映画放送株式会社 常務執行役員/「鬼平犯科帳」エグゼクティブ・プロデューサー 宮川 朋之 氏

進行：株式会社玄光社 編集本部長 川本 康 氏

15:00
16:00

SP-151 特別講演 201会議室

次世代の安心安全な広告を探る ～広告の自動化による課題回避策は？～

パネリスト：株式会社電通総研 名誉フェロー 奥 律哉 氏
ダイキン工業株式会社 広告宣伝グループ 部長 片山 義文 氏
日本テレビ放送網株式会社 営業局営業戦略センター アドリーチマックス部 武井 裕亮 氏
日本テレビ放送網株式会社 営業局営業戦略センター アドリーチマックス部 弘田 真之 氏
株式会社フリークアウト プロダクト戦略局 局長 松野 将太郎 氏

モデレーター：日本電気株式会社 CIBUメディア統括部 MEグループ シニアプロフェッショナル 深田 航志 氏

10:30
12:00

SP-152 特別講演 201会議室

JEITA AVC部会企画：Z世代が語る! これからの放送・映像コンテンツとわたしたち

NHK放送文化研究所 世論調査部 研究員 保高 隆之 氏
メディアを学ぶ学生の皆さん 京都デザイン＆テクノロジー専門学校 聖心女子大学 現代教養学部 人間関係学科 立教大学 社会学部 メディア社会学科

13:00
14:30

SP-153 特別講演 201会議室

その瞬間を伝えるライブ(生)字幕放送、 手話放送、解説放送の最新状況

パネリスト：読売テレビ放送株式会社 コンテンツ戦略局 コンテンツ戦略センター 八木 里奈 氏
読売テレビ放送株式会社 報道局 デジタル報道部 チーフ・エキスパート 矢野 健太郎 氏
岡山放送株式会社 情報アクセシビリティ推進部 部長(アナウンサー) 篠田 吉央 氏
NHK放送技術研究所 スマートプロダクション研究部 副部長 高橋 正樹 氏

モデレーター：月刊ニューメディア 編集部 ゼネラルエディター 吉井 勇 氏

15:00
16:30

出展者セミナー

▶会場:国際会議場1階「103」会議室・「104」会議室

11月13日 (水)	10:00 ▼ 11:30	ES1-131	テンセントクラウドオーディオ&ビデオサービス - グローバルユーザーと接続し、高品質なビデオ体験を提供 Tencent Japan合同会社 Tencent Cloud International David Yang 氏
	12:00 ▼ 13:30	ES1-132	Haivision国内外ライブスポーツ事例の紹介 Haivision Inc. Chief Strategy Officer and EVP of Strategic Partnerships Peter Maag 氏 株式会社 rtv 代表取締役 須澤 壮太 氏
	14:00 ▼ 15:30	ES1-133	進化し続けるネットワーキング・テクノロジーと放送システムの未来 [パネルディスカッション] モデレーター アリスタネットワークスジャパン合同会社 副社長 兼 技術本部長 兵頭 弘一 氏 アリスタネットワークスジャパン合同会社 技術本部 副部長 宗像 裕一郎 氏 日本テレビ放送網株式会社 技術統括局技術戦略部主任 兼 DX推進局DX推進局 サイバーセキュリティ事務局 上田 俊太郎 氏 鈴木 寿晃 氏
11月14日 (木)	12:00 ▼ 13:30	ES1-142	コンテンツ制作・配信・収益化の最前線～ AWSクラウドで実現するイノベーション事例 [日英逐次通訳付き] Amazon Web Services, Inc. アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 ゲストスピーカー メディア・エンターテインメント担当ディレクター イングストリー事業開発マネージャー (メディア・エンターテインメント) 山口 賢人 氏 サムラ・バクティアル 氏 小窪 政史 氏 株式会社フジテレビジョン 技術局 回線・送信技術部 デジタル開発技術部 ITシステム開発部 河井 宏允 氏 株式会社NHKテクノロジーズ 齋藤 佳奈 氏
	14:00 ▼ 15:30	ES1-143	コンテンツの問題発言検索に向けた、オンプレミスAI環境の構築方法とクラウドAIとの併用について 株式会社トラフィック・シム グローバルパートナーシップ室 ムハンマド イクバル アル フワーリズミー 氏
11月15日 (金)	10:00 ▼ 11:30	ES1-151	次世代ラジオマスター実証実験第2期の中間報告(リモート統合マスターのプロトタイプング) スカパー JSAT株式会社 株式会社エフエム東京 メディア技術本部メディアシステム部 第1チーム長 前中 隆 氏 取組役 管理本部 技術局長 川島 修 氏
	12:00 ▼ 13:30	ES1-152	未来のテレビを形づくるABEMAのグロース戦略:ユーザー体験と品質向上のアプローチ 株式会社AbemaTV Development Headquarters - Product Division Chief Product Manager 田所 義明 氏 株式会社AbemaTV Development Headquarters - Product Division Senior Product Manager & Data Scientist 山口 想 氏 株式会社AbemaTV Development Headquarters - Product Division Principal Product Engineer 波戸 勇二 氏
	14:00 ▼ 15:30	ES1-153	AI/GenAIのMedia業界への適用について 株式会社NTTデータ メディア・情報サービス事業部 統括部長 宮下 徳仁 氏 株式会社サンリオ 事業戦略本部 デジタルデザイン部 シニアマネージャー 田中 龍太郎 氏 日本テレビ放送網株式会社 社長室 新規事業部 加藤 大樹 氏 NTT DATA Italia Media Expansion Program Lead Jani Pavlovic 氏
11月15日 (金)	14:00 ▼ 15:30	ES2-153	Fusion File Shareで実現する高速ファイルアクセス- RDMAをサポートするクロスプラットフォームSMBプロトコル - タクセラ・ジャパン株式会社 シニア・プリシパル フィールド・アプリケーション・エンジニア 太田 英二 氏 Tuxera Inc. Head of Enterprise Engineering Joel Catala 氏 Xinnor CEO Dmitry Livshits 氏 Pacific Teck Japan合同会社 シニアエンジニア 森本 賢治 氏 株式会社マクニカ クラビス カンパニー 第1技術統括部技術第2部 吉田 龍太郎 氏 株式会社マクニカ クラビス カンパニー 第1技術統括部技術第2部第1課 大友 裕道 氏

オンライン出展者セミナー

▶会場:Inter BEE 公式Website(オンライン)

11月13日 (水)	11:30 ▼ 12:30	ES0-132	生成 AI でメディアはどう変わる? Gemini が新しい働き方を推進! グーグル・クラウド・ジャパン 合同会社 アカウント エグゼクティブ 山木 翔平 氏 株式会社TBSテレビ メディアテクノロジー局 イノベーション推進部 部長 宮崎 慶太 氏 株式会社毎日放送 経営戦略局 DX 推進部 エキスパート 倉田 智 氏
	11月15日 (金)	11:30 ▼ 12:30	ES0-152

同時開催 民放技術報告会

11月13日 (水)	10:30 ▶ 16:20	JBA-131	制作技術部門 「櫻井・有吉THE夜会」における自動スイッチングシステムの運用 TBSテレビ 亀田 達氏 「東急ジルバスターコンサート2023-2024」APN IOWN1.0を用いた4K非圧縮伝送による生中継制作 テレビ東京 伊井 隼人氏 制作・報道サブのオールIP化更新 映像・ネットワーク編 宮城テレビ放送 目黒 洋一氏 制作・報道サブのオールIP化更新 音声・インカム編 宮城テレビ放送 日野 尊澄氏 ノンリニア収録・編集システム更新 毎日放送 野畑 智樹氏 報道スポーツコンテンツ制作システムの構築 テレビ東京 泉 政希氏 VMOを活用したリモートスタジオ テレビ北海道 池田 修氏 IPスタジオへの更新とKairosの導入 テレビ北海道 磯西 賛太郎氏 テレビ大阪新社屋 ST2110サブシステム(映像編) テレビ大阪 川村 真也氏 テレビ大阪新社屋 ST2110サブシステム(音声編) テレビ大阪 齋藤 智文氏 報道ナレーション収録システム 音声無人化「サクナレ」 フジテレビジョン 日置 健太郎氏
	13:00 ▶ 15:05	JBA-132	ラジオ・音声部門 4社統合ラジオマスターの構築 エフエム東京 大鷹 伸章氏 Raspberry Piを使用した既存CODECのSRT化伝送実験 文化放送 上原 裕司氏 番組制作システムDAWへの自動ラウドネスレベル調整システムの実装について 文化放送 三池 敦志氏 ひかり電話によるラジオ中継を行うためのルータ制御装置の開発 ラジオ沖縄 西原 正太郎氏 Starlinkを使用した番組中継の一例 大阪放送 出野 盛彦氏
	11:20 ▶ 16:45	JBA-133	CG・コンピュータビジョン部門 全周囲CG 映像を活用した移動XR 体験の制作 日本テレビ放送網 田中 陽氏 アバター参加型VPシステムの構築と運用 テレビ朝日 近藤 昇氏 ロゴを見つけてくれる君の開発 テレビ東京 藤森 友誠氏 多機能な新しいビデオペンの開発 日本テレビ放送網 三浦 祐樹氏 生成AIでスタジオセットを描いてみた 関西テレビ放送 栗山 和久氏 Time Trip ~伊豆半島ジオパーク 噴火と衝突を繰り返す伊豆諸島~における生成AIの活用 フジテレビジョン 大村 卓氏 気象・災害報道に特化したL字スーパーシステムの構築 フジテレビジョン 鈴木 雄一郎氏 LEDパネルを使用したCG演出 ~ news zeroでの活用~ 日本テレビ放送網 狩野 博貴氏 報道スタジオへのバーチャルプロダクション設備の導入 テレビ東京 宮澤 真子氏 CDTVライブ!ライブ!でのXR施策 TBSテレビ 八木 真一郎氏
	13:30 ▶ 16:00	JBA-141	特別企画 AIで進化する放送業界の最前線 ~生成AIを含む機械学習の活用と未来~ コーディネーター TBSテレビ メディアテクノロジー局未来技術設計部マネージャー 塩寺 太一郎 氏 パネリスト 日本テレビ放送網 技術統括局デジタルコンテンツ制作部次長 篠田 貴之氏 テレビ朝日 インターネット・オブ・テレビジョン局 データソリューションセンターAI推進担当部長 中山 真吾氏 フジテレビジョン 技術局次長統括 技術戦略担当 武田 篤氏 テレビ東京 テック開発局テックラボ 松本 里奈氏 毎日放送 統合技術局制作技術センター ネット&テクニカルデザインCG担当 市川 充史氏

11月14日 (木)	14:30 ▶ 14:50	開会挨拶
	14:50 ▶ 15:20	経済産業省プレゼンテーション
11月14日 (木)	15:20 ▶ 15:30	休憩
	15:30 ▶ 15:50	総務省プレゼンテーション
	16:00 ▶ 16:10	休憩
	16:10 ▶ 17:00	全映協グランプリ2024 結果発表・表彰式
	17:30 ▶ 19:00	懇親会 (会費7,000円)

11月15日 (金)	11:20 ▶ 16:45	JBA-151	制作技術部門 マルチモーダル生成AIを用いて 映像内容の説明を自動生成する研究 TBSテレビ 佐竹 颯太氏 AIによる自動テロップ生成システムの開発 テレビ朝日 細谷 優介氏 V2・V5スタジオ4K化更新 フジテレビジョン 松本 賢二氏 照明業務支援システムの開発 朝日放送テレビ 瀧本 貴士氏 コンテンツ制作の可能性を広げるカメラトラッキングセンサーを 使用したりモコンカメラ制御ソフトの開発 朝日放送テレビ 伊田 俊基氏 Live Video Center(LVC)Phase2の構築 フジテレビジョン 南雲 幸平氏 スタジオ収録同時トランスコードシステムの本運用について 日本テレビ放送網 藤原 将展氏 ファイルアーカイブシステム更新~ニアラインアーカイブとの統合~ 日本テレビ放送網 下栗 逸爾氏 クラウドで広がったスポーツ演出「クラウドリプレイシステム」 毎日放送 松本 卓敏氏 Speed-Net(NNN情報カメラ集約システム)の導入 日本テレビ放送網 三隅 翔三氏 超低遅延伝送ソフトウェアLive Multi Studioで革新する シン・リモートプロダクション TBSテレビ/WOWOW 勝俣 祐輝氏 / 馬詰 真実氏
	10:30 ▶ 16:20	JBA-152	送信部門 大津石山中継局アンテナ更新におけるアンテナ工事手法について 朝日放送テレビ 福元 康仁氏 (KBS京都)比叡山送信所 リチウムイオン蓄電池式UPSへの更新 京都放送 山本 尚昭氏
	13:00 ▶ 14:40	JBA-153	回線・伝送部門 回線遅延差測定システムI-Syncの開発 フジテレビジョン 米田 航氏 JNN28局を結ぶ閉域ネットワーク「JIPANG」 TBSテレビ 宮崎 真一氏 テレビ大阪新社屋ST2110IP回線システム テレビ大阪 大森 雅文氏 B71対応FPUのIF Diver受信の開発 読売テレビ放送 加藤 裕視氏
	11:20 ▶ 12:10	JBA-154	送出部門 テレビ大阪新社屋IP・ファイルベースマスター テレビ大阪 山口 恭平氏 マスター設備更新と放送系IPネットワークの構築 テレビ北海道 齋藤 光司氏
	13:00 ▶ 15:05	JBA-155	配信部門 新ライブ配信システムLive-Sの構築 フジテレビジョン 阿部 洋介氏 番組コンテンツ管理システムの構築 テレビ大阪 山中 大輔氏 配信向け字幕システム導入について フジテレビジョン 米岡 充裕氏 生成AIを用いた「コンテクスチュアル広告」の開発 日本テレビ放送網 辻 里奈氏 クラウドを活用した配信業務効率化システム「DACX」の開発 フジテレビジョン 永田 祐之氏

同時開催 全映協フォーラム 2024 in 幕張

▶フォーラム:国際会議場1階「104」
▶大懇親会:国際会議場1階「103」
▶主催:一般社団法人全国地域映像団体協議会

11月14日 (木)	14:30 ▶ 14:50	開会挨拶
	14:50 ▶ 15:20	経済産業省プレゼンテーション
11月14日 (木)	15:20 ▶ 15:30	休憩
	15:30 ▶ 15:50	総務省プレゼンテーション
	16:00 ▶ 16:10	休憩
	16:10 ▶ 17:00	全映協グランプリ2024 結果発表・表彰式
	17:30 ▶ 19:00	懇親会 (会費7,000円)

INTER BEE EXPERIENCE

ワールドクオリティの音響体験。音はまだまだ進化する！

国内最大のSRスピーカー試聴体験イベントX-Speaker。2024年は13ブランドが競演しました。ヘッドフォンとマイクロフォンの試聴体験展示X-Headphone / X-Microphoneも実施。多くの来場者が、留まる事なく進化を続ける世界品質の音響を、イベントホールと会場で体験しました。

X-Speaker SRスピーカー体験デモ

出展者・ブランド／製品名 ▶会場：幕張メッセ イベントホール

◆ポイントソース/スタンド・ラインアレイスピーカー

	11/13 10:30~ 11/14 14:00~ Pinnacle-KR402 II 株式会社オーディオブレインズ
	11/13 11:10~ 11/14 14:40~ L1 Pro32 + SUB2 BOSE PROFESSIONAL
	11/13 13:10~ 11/14 16:40~ al-4 サブコンバクト・ラインアレイ・システム 日本エレクトロ・ハーモニクス株式会社

◆小型ラインアレイスピーカー

	11/13 11:50~ 11/14 15:20~ AC6 システム 音響特機株式会社
--	--

◆中・大型ラインアレイスピーカー

	11/13 12:30~ 11/14 16:00~ SRX910LA / SRX918S / SRX928S ヒビノ株式会社
	11/13 14:00~ 11/15 10:30~ GTX10 / GTS29 音響特機株式会社

	11/13 14:40~ 11/15 11:10~ CIRAY / SC2-F / SCV-F ヒビノインターサウンド株式会社
	11/13 15:20~ 11/15 11:50~ K3 / KS28 ベストックオーディオ株式会社
	11/13 16:00~ 11/15 12:30~ GEO M12 システム 株式会社ヤマハミュージックジャパン
	11/14 10:30~ 11/15 14:00~ COHESION C08 リワイアー株式会社
	11/14 11:10~ 11/15 14:40~ VGt リワイアー株式会社
	11/14 11:50~ 11/15 15:20~ WAVEFRONT PRECISION ラインアレイ WPC 株式会社オーディオブレインズ
	11/14 12:30~ 11/15 16:00~ SL-Series GSL8 / SL-SUB ディーアンドビー・オーディオテクニク・ジャパン株式会社 機材協力：リワイアー株式会社

X-Headphone | X-Microphone ヘッドフォン / マイクロフォン試聴体験展示

出展者／ブランド ▶会場：展示ホール2

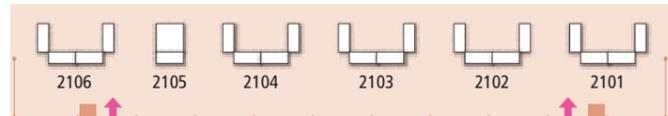
◆ヘッドフォン

2101	qdc/ULTRASONE/Maestraudio 株式会社アユート
2102	STAX 有限会社スタックス
2104	Audio-Technica 株式会社オーディオテクニカ
2105	Yamaha 株式会社ヤマハミュージックジャパン
2106	Austrian Audio 株式会社ジェネレックジャパン

◆マイクロフォン

2103	AUDIX ローランド株式会社
2104	Audio-Technica 株式会社オーディオテクニカ
2106	Austrian Audio 株式会社ジェネレックジャパン

会場レイアウト



INTER BEE DX x IP PAVILION

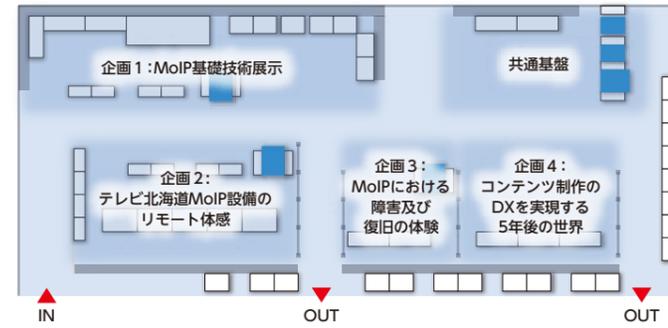
企業間の垣根を超えた「連携」でMoIP(Media over IP)による「コンテンツ制作のDX」の可能性を提案

■ 出展者 ▶会場：展示ホール3

(株) アイランドシックス アストロデザイン (株) アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 (株) アンバーサイン 池上通信機 (株) (株) インテリジェント ウェイブ エイチ・シー・ネットワークス (株) ATENジャパン (株) NEC エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ (株) Zabbix Japan LLC The POS Inc. シスコシステムズ合同会社 ジャパンマテリアル (株) (株) 精工技研 セイコーソリューションズ (株) ソニービズネットワークス (株) ソニーマーケティング (株) デジキャス合同会社	東京エレクトロン デバイス (株) 東芝インフラシステムズ (株) (株) 東陽テクニカ ネットワークシステムズ (株) パナソニック コネクト (株) 原田産業 (株) バンドウイットコーポレーション日本支社 ビデオロン (株) 平河ヒューテック (株) 華為技術日本 (株) (株) フォトロン (株) 芙蓉ビデオエージェンシー (株) 朋栄 (株) マクニカ 丸文 (株) (株) メディア・インテグレーション (株) メディアリンクス (株) ラムダシステムズ (株) 理経
--	---

◆アドバイザー
NECプラットフォームズ (株) (ARIB) 日本放送協会
国立天文台 (株) フジテレビジョン (ARIB)
日本テレビ放送網 (株) (ARIB)

◆企画・協力
APRESIA Systems (株) (株) テレビ北海道
RCT | Remote Camera Technology (株) ニュウジア
(株) ヴィレッジアイランド (株) ニューメディア
エイム電子 (株) 松田通商 (株)
(株) NHKテクノロジーズ リーダー電子 (株)
ティアック (株)



■ 基調講演 ▶会場：国際会議場 2F 国際会議室

11月14日(木)	
KN-143	15:00▶17:00
少人数で想定外に備える放送技術のIP化を考える	
パネリスト 北陸朝日放送株式会社 代表取締役社長 能田 剛志 氏 北陸放送株式会社 技術局長 兼 制作技術部長 塚野 誠司 氏 株式会社テレビ北海道 技術・DX推進局長 高橋 康二 氏 ソニーマーケティング株式会社 B2Bプロダクツ&ソリューション本部B2Bビジネス統括部長 小貝 肇 氏 Interop ShowNet NOCチームメンバー 国立天文台 情報セキュリティ室 先任研究技師 遠峰 隆史 氏	
モデレーター 月刊ニューメディア 編集部 セネラルエディター 吉井 勇 氏	
Media over IP コンソーシアムの設立について～ 共創で実現する放送DX ～ ソニーマーケティング株式会社 一般社団法人電子情報技術産業協会 B2Bプロダクツ&ソリューション本部B2Bビジネス統括部長 小貝 肇 氏 一社社団法人電子情報技術産業協会 市場創生部 部長 志村 昌宏 氏	

■ リレーセミナー ▶会場：展示ホール3

11月13日(水)	
10:30▶10:50	今年の見どころ～INTER BEE DX x IP PAVILION～ 東京エレクトロン デバイス (株)
10:50▶11:10	"IP PAVILION" のMedia over IPネットワークとは？ ネットワークシステムズ (株)
11:10▶11:50	"深掘るコーナー" ネットワークの信頼性向上を深掘る 日本放送協会、東京エレクトロン デバイス (株)、ネットワークシステムズ (株)、エイチ・シー・ネットワークス (株)
11:50▶12:10	"IP PAVILION" PTPの概要とIPパビリオンの構成について セイコーソリューションズ (株)
12:10▶12:30	"IP PAVILION" MoIP基礎技術展示の紹介 (株) フォトロン
12:50▶13:10	"IP PAVILION" 統合監視・パケットキャプチャのすゝめ Zabbix Japan LLC
13:10▶13:30	放送におけるAI技術活用の現在と未来 NHK 放送技術研究所
13:30▶14:10	サイバー攻撃の変遷とサイバーセキュリティ 国立研究開発法人情報通信研究機構
14:10▶14:30	"IP PAVILION" でセキュリティやってみた エイチ・シー・ネットワークス (株)
14:30▶14:50	"IP PAVILION" 障害及び復旧体験コーナーでできること 華為技術日本 (株)
14:50▶15:10	"IP PAVILION" IPでマスターもスタジオもそのままリモートしてみたら (株) テレビ北海道
15:10▶15:50	MoIPシステムに潜むセキュリティの脅威 国立天文台
16:10▶16:30	"IP PAVILION" コンテンツ制作のDXを実現する5年後の世界～ソフトウェア/クラウドの活用～ ソニーマーケティング (株)
16:50▶17:30	"MoIP導入局の"気づき"を対談で深める" 放送技術から見たMoIPシステムのデザインポイントを語る (株) ニューメディア、(株) 宮城テレビ放送、東海テレビ放送 (株)

11月14日(木)	
10:30▶10:50	今年の見どころ～INTER BEE DX x IP PAVILION～ ソニーマーケティング (株)
10:50▶11:10	"IP PAVILION" のMedia over IPネットワークとは？ ネットワークシステムズ (株)
11:10▶11:50	"深掘るコーナー" 時刻同期を深掘る パナソニック コネクト (株)、池上通信機 (株)、セイコーソリューションズ (株)、ソニーマーケティング (株)、日本放送協会
11:50▶12:10	"IP PAVILION" PTPの概要とIPパビリオンの構成について 原田産業 (株)
12:10▶12:50	MoIPシステムに潜むセキュリティの脅威 国立天文台
12:50▶13:10	"IP PAVILION" IPでマスターもスタジオもそのままリモートしてみたら (株) テレビ北海道
13:10▶13:30	放送におけるAI技術活用の現在と未来 NHK 放送技術研究所
13:30▶14:10	サイバー攻撃の変遷とサイバーセキュリティ 国立研究開発法人情報通信研究機構
14:10▶14:30	"IP PAVILION" でセキュリティやってみた (株) アイランドシックス
14:30▶14:50	"IP PAVILION" 障害及び復旧体験コーナーでできること デジキャス合同会社
15:30▶15:50	"IP PAVILION" MoIP基礎技術展示の紹介 池上通信機 (株)
15:50▶16:10	"IP PAVILION" テレメトリ監視・アクティブモニタリングのすゝめ 東京エレクトロン デバイス (株)、シスコシステムズ合同会社
16:10▶16:30	"IP PAVILION" コンテンツ制作のDXを実現する5年後の世界～ソフトウェア/クラウドの活用～ アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
16:50▶17:30	"MoIP導入局の"気づき"を対談で深める" IPマスター導入と制作サブリップ化も含めた放送局システムの変化を語る (株) ニューメディア、(株) テレビ埼玉、テレビ大阪 (株)

11月15日(金)	
10:30▶10:50	今年の見どころ～INTER BEE DX x IP PAVILION～ Zabbix Japan LLC
10:50▶11:10	"IP PAVILION" のMedia over IPネットワークとは？ (株) マクニカ
11:10▶11:50	"深掘るコーナー" NMOSを深掘る ジャパンマテリアル (株)、(株) 朋栄、(株) フォトロン、日本放送協会
11:50▶12:10	"IP PAVILION" MoIP基礎技術展示の紹介 アストロデザイン (株)
12:30▶12:50	"IP PAVILION" IPでマスターもスタジオもそのままリモートしてみたら (株) テレビ北海道
13:10▶13:30	サイバー攻撃の変遷とサイバーセキュリティ 国立研究開発法人情報通信研究機構
14:10▶14:30	"IP PAVILION" でセキュリティやってみた エイチ・シー・ネットワークス (株)
14:30▶14:50	"IP PAVILION" 障害及び復旧体験コーナーでできること (株) インテリジェント ウェイブ
14:50▶15:10	"IP PAVILION" PTP監視・ストリーム監視・GPSセキュリティのすゝめ (株) インテリジェント ウェイブ、丸文 (株)
15:10▶15:50	MoIPシステムに潜むセキュリティの脅威 国立天文台
15:50▶16:10	"IP PAVILION" コンテンツ制作のDXを実現する5年後の世界～ソフトウェア/クラウドの活用～ (株) インテリジェント ウェイブ
16:10▶16:50	ShowNetとIP PAVILIONのこれまでとこれから 日本放送協会、国立天文台、Zabbix Japan LLC

INTER BEE IGNITION x DCEXPO

メディアの進化を探る：テクノロジー、地域、アーカイブ

■ 基調講演 ▶会場：国際会議場2F 国際会議室

11月15日(金)

KN-152 12:30▶14:05

トークセッション:『ゴジラ -1.0』山崎貴監督 & 「計算機自然神社」も話題の落合陽一氏が登壇

◆第1部 落合陽一×河口洋一郎が語る「メディア・アートとAIの未来」 メディアアーティスト 落合陽一氏	◆第2部 山崎貴×河口洋一郎が語る「特撮の魅力」 映画監督 山崎貴氏	モデレーター アーティスト/東京大学名誉教授 河口洋一郎氏
--	---	-------------------------------------

■ 企画セッション ▶会場：展示ホール6 INTER BEE IGNITION x DCEXPO オープンステージ

11月13日(水)

IG-131 10:30▶12:00

先進映像協会 ルミエール・ジャパン・アワード2024 表彰式

良質な3D、4K、8K、VR作品へ贈られるルミエール・ジャパン・アワードと、当該分野の発展への寄与が期待される取り組みへ贈られるグッドプラクティス・アワードの、今年度の受賞者を表彰・公表しました。

IG-132 12:30▶14:00 出展者プレゼン

テクノロジーの最前線に立つ出展者たちの紹介: Vライバーが聞く新時代のアイデア

参加企業 -----

0-9studio (株) X (株) ハシラス (株) ハシラス 日本テレビ×サンミュージロン×TASKO LOOVIC (株) (株) SceneryScent ユカイ工学 (株) (株) Pocket RD サイバー南無南無 Auto VR (株) (株) HKSK

モデレーター -----

イチナナVライバー 清 楼銘氏 イチナナVライバー りぼん_chan氏

IG-133 14:50▶15:50 DCEXPO企画

Web3の基礎と最新トレンド

スピーカー -----

株式会社幻冬舎 あたらしい経済編集長/コンテンツビジネス局長 設楽 悠介氏

IG-134 16:10▶17:20 DCEXPO企画

テクノロジーは地球を救えるのか?!

パネリスト -----

株式会社ウイズグループ 代表取締役 奥田 浩美氏 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 (KMD) 教授 南澤 孝太氏

IG-135 18:30▶19:30 DCEXPO企画

未来のメディア共創へ: テレビ局×スタートアップ ピッチ

ピッチスタートアップ -----

Lazuli株式会社 執行役員 営業部門 株式会社PBADAO 芳賀 真氏 北庄司 英雄氏 株式会社moze 代表取締役CEO 株式会社クエスティー 代表取締役 横井 一隆氏 株式会社Tomody 代表取締役 富森 健史氏 株式会社NO MORE 代表取締役 佐田 晋一郎氏 株式会社SceneryScent 代表取締役 郡 香苗氏

参加テレビ局 -----

日本テレビホールディングス株式会社 経営戦略局 経営戦略部 兼 R&D ラボ 主任 福井 崇博氏 株式会社MBSイノベーションドライブ 投資事業部 部長 村田 尚也氏 株式会社テレビ朝日 ビジネスソリューション本部 IoT局インターネット・オペ・テレビジョンセンター 先端コンテンツビジネス担当部長 増澤 晃氏 株式会社テレビ東京 代表パートナー 株式会社テレビ東京 プロデューサー 西川 直樹氏 株式会社フジテレビジョン ビジネス推進局 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所 上席研究員 清水 俊宏氏 森永 真弓氏

モデレーター -----

株式会社HEART CATCH 代表取締役 西村 真里子氏

11月14日(木)

IG-141 10:20▶11:50 出展者プレゼン

次世代を担う出展者たちの挑戦: Vライバーとともに見るスタートアップと大学の未来

参加企業 -----

長崎大学 田中研究室 JP UNIVERSE (株) (株) Portalgraph ダブルネスト TechGALA Japan (株) amulapo Hapbeat合同会社/東京工業大学大学院 奈良先端科学技術大学院大学/東京大学 慶應義塾大学大学院 Embodied Media Project 明治大学 宮下芳明研究室

モデレーター -----

イチナナVライバー 清 楼銘氏 イチナナVライバー スラたん氏

IG-142 13:00▶14:30

ローカルから世界へ: 地域の魅力がグローバルインパクトを生む日本

パネリスト -----

Contents合同会社 代表 株式会社Days 代表取締役 土屋 敏男氏 河瀬 大作氏 桑名市 市長 伊藤 徳宇氏

モデレーター -----

株式会社HEART CATCH 代表取締役 西村 真里子氏

IG-143 15:30▶17:30

未来のメディア共創へ: テレビ局×スタートアップ ピッチ

ピッチスタートアップ -----

Lazuli株式会社 執行役員 営業部門 株式会社PBADAO 芳賀 真氏 北庄司 英雄氏 株式会社moze 代表取締役CEO 株式会社クエスティー 代表取締役 横井 一隆氏 株式会社Tomody 代表取締役 富森 健史氏 株式会社NO MORE 代表取締役 佐田 晋一郎氏 株式会社SceneryScent 代表取締役 郡 香苗氏

参加テレビ局 -----

日本テレビホールディングス株式会社 経営戦略局 経営戦略部 兼 R&D ラボ 主任 福井 崇博氏 株式会社MBSイノベーションドライブ 投資事業部 部長 村田 尚也氏 株式会社テレビ朝日 ビジネスソリューション本部 IoT局インターネット・オペ・テレビジョンセンター 先端コンテンツビジネス担当部長 増澤 晃氏 株式会社テレビ東京 代表パートナー 株式会社テレビ東京 プロデューサー 西川 直樹氏 株式会社フジテレビジョン ビジネス推進局 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所 上席研究員 清水 俊宏氏 森永 真弓氏

モデレーター -----

株式会社HEART CATCH 代表取締役 西村 真里子氏

IG-144 18:30▶19:30

XR技術が創る「空間を身にまとう時代の放送メディア」

スピーカー -----

株式会社STYLY 地域共創プロデューサー 澤田 有人氏

IG-145 10:30▶12:00 DCEXPO企画

日本から世界へ! 体験型エンターテインメントの最前線

パネリスト -----

NO MORE Inc. Chief Creative Officer 広屋 佑規氏 MPLUSPLUS株式会社 代表取締役社長 藤本 実氏 ソニーマーケティング株式会社 クリエイティブディレクター 佐藤 哲也氏

モデレーター -----

エンタメ社会学者 中山 淳雄氏

IG-146 14:20▶15:10 DCEXPO企画

SIGGRAPH招聘トークセッション: Metaの研究者が語る Emerging Technologies 日英逐次通訳付き

パネリスト -----

Meta Platforms, Inc./ SIGGRAPH 2025 Emerging Technologies Chair Nathan Matsuda氏 NVIDIA/ACM SIGGRAPH SACAG Chair Tomasz Bednarz氏 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授 南澤 孝太氏

■ 企画セッション ▶会場：展示ホール7 INTER BEE BORDERLESS オープンステージ

11月15日(金)

IG-151 11:00▶12:00 DCEXPO企画

XR技術が創る「空間を身にまとう時代の放送メディア」

スピーカー -----

株式会社STYLY 地域共創プロデューサー 澤田 有人氏

IG-152 13:00▶14:00

日本から世界へ! 体験型エンターテインメントの最前線

パネリスト -----

NO MORE Inc. Chief Creative Officer 広屋 佑規氏 MPLUSPLUS株式会社 代表取締役社長 藤本 実氏 ソニーマーケティング株式会社 クリエイティブディレクター 佐藤 哲也氏

モデレーター -----

エンタメ社会学者 中山 淳雄氏

IG-153 14:20▶15:10 DCEXPO企画

SIGGRAPH招聘トークセッション: Metaの研究者が語る Emerging Technologies 日英逐次通訳付き

パネリスト -----

Meta Platforms, Inc./ SIGGRAPH 2025 Emerging Technologies Chair Nathan Matsuda氏 NVIDIA/ACM SIGGRAPH SACAG Chair Tomasz Bednarz氏 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授 南澤 孝太氏

IG-154 15:30▶16:30 DCEXPO企画

“中東で一番有名な日本人、鷹鳥屋 明氏登場!” 石油と砂漠の国のエンタメとイノベーション、中東アラブの今を語る

スピーカー -----

筑波大学非常勤講師/株式会社アルタイル CEO 鷹鳥屋 明氏

IG-155 18:30▶19:30

未来のメディア共創へ: テレビ局×スタートアップ ピッチ

ピッチスタートアップ -----

Lazuli株式会社 執行役員 営業部門 株式会社PBADAO 芳賀 真氏 北庄司 英雄氏 株式会社moze 代表取締役CEO 株式会社クエスティー 代表取締役 横井 一隆氏 株式会社Tomody 代表取締役 富森 健史氏 株式会社NO MORE 代表取締役 佐田 晋一郎氏 株式会社SceneryScent 代表取締役 郡 香苗氏

参加テレビ局 -----

日本テレビホールディングス株式会社 経営戦略局 経営戦略部 兼 R&D ラボ 主任 福井 崇博氏 株式会社MBSイノベーションドライブ 投資事業部 部長 村田 尚也氏 株式会社テレビ朝日 ビジネスソリューション本部 IoT局インターネット・オペ・テレビジョンセンター 先端コンテンツビジネス担当部長 増澤 晃氏 株式会社テレビ東京 代表パートナー 株式会社テレビ東京 プロデューサー 西川 直樹氏 株式会社フジテレビジョン ビジネス推進局 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所 上席研究員 清水 俊宏氏 森永 真弓氏

モデレーター -----

株式会社HEART CATCH 代表取締役 西村 真里子氏

イノベティブネットワーク

11月14日(木) 17:45▶19:15

先端的な映像表現技術やテクノロジーが集まるINTER BEE IGNITION x DCEXPOにてネットワークを開催しました。出展者や来場者によるオープンマイクピッチやパフォーマンス等が実施され、出展者と来場者の交流が深まる場となりました。

INTER BEE BORDERLESS

メディアは、自由になった。ビジネスは、解放された。

■ 出展者 ▶会場：展示ホール7

7104 (株) Jストリーム
7106 クオリティネットソリューションズ(株)
7107 一般社団法人放送サービス高度化推進協会 (A-PAB)
7108 マルチスクリーン型放送研究会
7109 (株) オプテージ
7110 (株) オルカプロダクション
7111 一般社団法人IPTVフォーラム

■ 基調講演 ▶会場：国際会議場2F 国際会議室

11月14日(木)

KN-142 13:00▶14:30

“放送”の未来像を配信の“現場”から考える

モデレーター -----

青山学院大学 総合文化政策学部 内山 隆氏

パネリスト -----

株式会社TVer 取締役 株式会社フジテレビジョン 技術局 技術戦略部 チーフエンジニア 須賀 久彌氏 伊藤 正史氏 中京テレビ放送株式会社 技術D X局専門局長 北海道放送株式会社 メディア戦略局長 大橋 道生氏 滝沢 淳一氏

■ 企画セッション ▶会場：展示ホール7 INTER BEE BORDERLESS オープンステージ

11月13日(水)

BL-131 10:30▶12:00

定量データから見る情報空間の現在地 ~生活者トレンドを正しく理解し、制度設計の礎とする

モデレーター -----

メディアビジョンラボ 代表 奥 律哉氏

パネリスト -----

株式会社電通 電通メディアイノベーションラボ 主任研究員 森下 真理子氏 株式会社ビデオリサーチ ひと研究所 所長 渡辺 庸人氏

BL-132 13:00▶14:00

アドリーチマックス・プラットフォームのインプレッション取引を深掘りする

モデレーター -----

メディアコンサルタント 境 治氏

パネリスト -----

日本テレビ放送網株式会社 営業局営業戦略センター アドリーチマックス部 部長 松本 学氏 日本テレビ放送網株式会社 営業局営業戦略センター アドリーチマックス部 武井 裕亮氏 株式会社宣伝会議 取締役 メディアデジタルコンテンツ本部本部長 兼 月刊「宣伝会議」編集長 谷口 優氏

BL-133 14:30▶15:30

テレビにとってリテールメディアは敵か味方か? ~テレビとの親和性を探る~

モデレーター -----

日本電気株式会社 CIBUメディア統括部 MEグループシニアプロフェッショナル 深田 航志氏

パネリスト -----

株式会社ゲート・ワン 取締役COO 速水 大剛氏 北陸朝日放送株式会社 エリア・イノベーション推進 部長 伊藤 祐介氏

BL-134 16:00▶17:20

音声コンテンツとしてのラジオの展望、そしてテレビが学ぶべきことは?

モデレーター -----

株式会社TVQ九州放送 コンテンツ戦略局 コンテンツ戦略部 永江 幸司氏

パネリスト -----

株式会社オトナル 代表取締役 株式会社ニッポン放送 コンテンツプロデュースルーム・ルーム長 八木 太亮氏 富山 雄一氏 RKB毎日放送株式会社 編成局アナウンス部 富士原 圭希氏 プロレタリア星地球営業所 サラリーマン氏

11月14日(木)

BL-141 10:30▶11:30

デジタル時代にドキュメンタリーをどう届けるのか

モデレーター -----

報道局デジタルグループ リードコンテンツプロデューサー 三日月 儀雄氏

パネリスト -----

LINEヤフー株式会社 Yahoo!ニュースドキュメンタリー チーフ・プロデューサー 金川 雄策氏 日本テレビ放送網株式会社 報道総編成ニュースセンター NNNドキュメントプロデューサー 今村 忠氏 株式会社広島ホームテレビ 報道部 プロデューサー 立川 直樹氏

BL-143 15:00▶16:30

ローカル局元トップが次世代に託す放送局の未来像

モデレーター -----

株式会社ワイズ・メディア 取締役 メディアストラテジスト 塚本 幹夫氏

パネリスト -----

九州朝日放送株式会社 取締役相談役 和氣 靖氏 株式会社南日本放送 相談役 中村 耕治氏 札幌テレビ放送株式会社 元相談役 根岸 豊明氏

BL-144 17:00▶19:00

After Hours アーカイブ配信なし! ローカル局コンテンツに明日はあるのか?

モデレーター -----

報道局デジタルグループ リードコンテンツプロデューサー 三日月 儀雄氏

パネリスト -----

株式会社ワイズ・メディア 取締役 メディアストラテジスト 塚本 幹夫氏 株式会社TVQ九州放送 コンテンツ戦略部 コンテンツ戦略部 永江 幸司氏

BL-145 18:30▶19:30

未来のメディア共創へ: テレビ局×スタートアップ ピッチ

ピッチスタートアップ -----

Lazuli株式会社 執行役員 営業部門 株式会社PBADAO 芳賀 真氏 北庄司 英雄氏 株式会社moze 代表取締役CEO 株式会社クエスティー 代表取締役 横井 一隆氏 株式会社Tomody 代表取締役 富森 健史氏 株式会社NO MORE 代表取締役 佐田 晋一郎氏 株式会社SceneryScent 代表取締役 郡 香苗氏

参加テレビ局 -----

日本テレビホールディングス株式会社 経営戦略局 経営戦略部 兼 R&D ラボ 主任 福井 崇博氏 株式会社MBSイノベーションドライブ 投資事業部 部長 村田 尚也氏 株式会社テレビ朝日 ビジネスソリューション本部 IoT局インターネット・オペ・テレビジョンセンター 先端コンテンツビジネス担当部長 増澤 晃氏 株式会社テレビ東京 代表パートナー 株式会社テレビ東京 プロデューサー 西川 直樹氏 株式会社フジテレビジョン ビジネス推進局 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ メディア環境研究所 上席研究員 清水 俊宏氏 森永 真弓氏

モデレーター -----

株式会社HEART CATCH 代表取締役 西村 真里子氏

11月15日(金)

BL-151 10:30▶11:30

Netflixヒット作のプロデューサーに聞く最前線ストーリー

モデレーター -----

コンテンツビジネス・ジャーナリスト 長谷川 朋子氏

パネリスト -----

Netflix コンテンツ部門 ディレクター 高橋 信一氏 note株式会社 noteプロデューサー/プロガ 徳力 基彦氏

BL-152 12:00▶13:30

メディア企業は生成AIをどう使うか ~活用事例とリスクマネジメント

モデレーター -----

株式会社テレビ朝日 アナウンサー 平石 直之氏

パネリスト -----

北海道文化放送株式会社 編成局 編成部 高樹町法律事務所 弁護士 杉本 歩基氏 澤田 将史氏 東京メトロポリタンテレビジョン株式会社 編成制作本部 編成部長 樋田 光風氏

BL-153 14:00▶15:00

「個人メディア化」が加速する時代にどう向き合うのか

モデレーター -----

報道局デジタルグループ リードコンテンツプロデューサー 三日月 儀雄氏

パネリスト -----

関西学院大学 総合政策学部 特別客員教授 小西 美穂氏 ABEMA NEWS チーフプロデューサー 郭 晃彰氏 Tomoshi Bito株式会社 代表取締役社長 廣瀬 智之氏

BL-154 15:30▶16:30

日本におけるFAST事業の展開可能性と将来像

モデレーター -----

株式会社TBSテレビ メディア戦略局メディア企画部GM 高澤 宏昌氏

パネリスト -----

BBM株式会社 代表取締役CEO 福崎 伸也氏 大阪ガス株式会社 エナジーソリューション事業部 詳細部 市編戦略チーム マネジャー 棚倉 悠平氏

INTER BEE CREATIVE

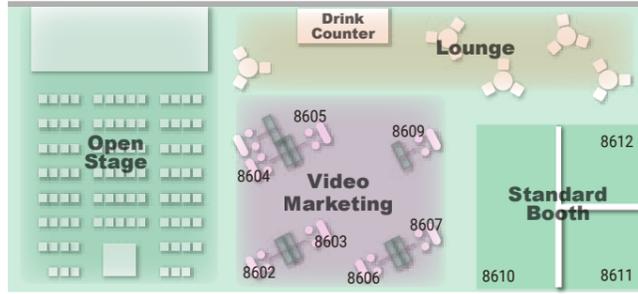
クリエイターが集い、映像業界の未来を創る。映像制作最前線と広がる動画活用領域を発信！

■ 出展者 ▶会場：展示ホール8

- 8610 (株)クープ
- 8611 (有)ディーアンドエーミュージック
- 8612 一般社団法人日本ポストプロダクション協会

■ 動画マーケティングラウンジ

- 8602 CHEESE
- 8603 (株)マルモリカンパニー
- 8604 (株)hati
- 8605 合同会社ズーパーズ
- 8606 (株)シャベリーズ
- 8607 W CREATIVE(株)
- 8609 (株)マウンテンスタジオ



■ 基調講演 ▶会場：国際会議場2F 国際会議室

11月15日(金) KN-153 15:00▶16:00
時代劇が魅せる、日本のコンテンツ産業の未来

日本映画放送株式会社 常務執行役員 「鬼平犯科帳」エグゼクティブ・プロデューサー 宮川 朋之 氏	モデレーター	株式会社玄光社 編集本部長 川本 康氏
--	--------	---------------------------

■ 企画セッション ▶会場：展示ホール8 INTER BEE CREATIVEオープンスタージ

11月13日(水)
CR-131 10:30▶11:30
海外メーカー大型LEDの技術と応用例

パネリスト
 奥拓電子日本株式会社 代表取締役 単 振鵬 氏
 レッドマンオプトエレクトロニクス株式会社 営業マネージャー 日本代表 伊藤 正義 氏
 レイヤーDジャパン株式会社 代表取締役 三浦 衛 氏
 シリコンコア・テクノロジーズ合同会社 代表 梅村 誠 氏

モデレーター
 フリージャーナリスト 映像新聞記者 月刊サイエンス&ディスプレイ記者 大型映像年鑑編集主幹 川田 宏之 氏
 株式会社近江エデュケーションセンター 事業推進室 技術顧問 大久保 洋 氏

CR-137 16:45▶17:30
京都・太秦 エクステンションプラン 一次世代コンテンツとしての時代劇の振興

映画監督 / 日本映画監督協会理事長 / 一般社団法人日本映像機能連合会長 本木 克英 氏	京都府商工労働観光部 産業振興課 参事 笠原 和史 氏
東映 京都撮影所 スタジオ事業部長 東映京都スタジオ 取締役 高橋 剣 氏	松竹撮影所 取締役 京都製作部長 永島 聡 氏

11月14日(木) Adobe Day 2024
CR-141 10:30▶11:10
注目機能が続々登場！ アドビビデオ製品の最新情報

アドビ株式会社 マーケティング部 マーケティングマネージャー 田中 玲子 氏

CR-142 11:40▶12:20
映像制作をさらに革新！ アドビのAI/生成AI機能を徹底解説

Adobe Inc. Sr. Product Marketing Manager Pro Editorial Kylee Pena 氏	Adobe Inc. Principal Product Manager Premiere Pro Francis Crossman 氏
--	---

CR-143 12:50▶13:30
クリエイティビティを“拡張”する！ Firefly Videoモデル & Premiere Pro生成拡張 実践例

株式会社Cyber AI Productions モーションデザイナー / コンポジット / エディター 白戸 裕也 氏

CR-144 14:00▶14:30
アドビの生成AIとは？ Adobe Fireflyのご紹介と実践例、フェイクニュースを防ぐ取り組みCAI

アドビ株式会社 エンタープライズ製品戦略部 シニアマネージャー 宇野 香織 氏

CR-145 15:10▶15:50
生成AIが切り拓く映像クリエイティブの世界

KOEL film / WITCRAFT ディレクター / クリエイティブコンダクター 清水 勝太 氏

CR-146 16:20▶17:00
より身近になった3DCG！ Adobe Substance 3D 最新アップデート

アドビ株式会社 エンタープライズ製品戦略部 3D Strategic Sales Specialist 水谷 肇志 氏

11月15日(金)
CR-151 10:30▶11:15
アジアのクリエイティブが熱い！ ~26th DigiCon6 ASIAアワードを振り返って~

デジコン6 ファウンダー 山口 泰広 氏	デジコン6 事務局長 山口 智広 氏
----------------------	--------------------

CR-152 11:30▶12:15
『HDRやHFRなどの高度フォーマットを生かした映像制作と楽しみ方』2

株式会社クープ テクニカルスーパーバイザー デジタルマーケティングディレクター 今塚 誠 氏	ソニー株式会社 Distinguished Engineer 小倉 敏之 氏
--	--

CR-153 13:00▶13:45
Amazon Prime『龍が如く ~Beyond the Game~』VFX映像制作秘話

スピーカー
 株式会社NTT ExCパートナー 「龍が如く ~Beyond the Game~」 VFXスーパーバイザー 進 威志 氏

INTER BEE CREATIVE ディレクター 結城 崇史 氏

モデレーター
 株式会社玄光社 編集本部長 川本 康 氏

CR-154 14:00▶14:45
今も女性は働きづらい？ 映像業界のリアルとこれからの考える

パネリスト
 アングルピクチャーズ マネージャー 近藤 香南子 氏

映像監督 中根 さや香 氏

株式会社Vook 丸田 佳奈 氏

CR-155 15:00▶15:45
生成AIで加速せよ！ リアルタイム技術を駆使したデジタル映像制作の世界

デル・テクノロジー株式会社 Business Development & Alliances Manager - Media & Entertainment Alex Timbs 氏	デル・テクノロジー株式会社 インフラストラクチャー ソリューションズ・SE統括本部 UDS SE本部 アドバイザリ システム エンジニア 天野 献士 氏
---	--

CR-156 16:00▶16:45
映像新時代は、VXクリエイターこそが必要。 「映像で体験を作る」VXとは？

パネリスト
 株式会社コンセント クリエイティブディレクター VRディレクター 渡邊 徹 氏

株式会社Vook 代表取締役 岡本 俊太郎 氏

INTER BEE CINEMA

映画制作技術とプロフェッショナルが集合！ 次世代コンテンツメーカーへと繋ぐ体験型シネマコミュニティ

▶会場：展示ホール3 ▶協力：日本映画撮影監督協会(JSC)、日本映画・テレビ照明協会(JSL)、日本映画・テレビ美術監督協会(APDJ)



■ プロダクト展示エリア (出展者)

- 3702 (株) SWITCH
- 3703 合同会社 トワイエイゾ / (株) 三和映材社
- 3704 (株) テクニカルファーム
- 3705 (株) レスター
- 3706 エヌティーアイジャパン (株)
- 3707 富士フィルム (株)
- 3708 三友 (株)
- 3709 (株) シグマ
- 3710 Angelbird Technologies GmbH
- 3711 リーダー電子 (株)

■ シネマカメラ展示

- キヤノン (株) / キヤノンマーケティングジャパン (株)
- ソニーマーケティング (株)
- 富士フィルム (株)
- ブラックマジックデザイン (株)

■ シネマレンズ展示

- | | | |
|------------------|-------|---------|
| Canon | LAOWA | Thyloch |
| CORAL Anamorphic | NISI | VILTROX |
| DZOFILM | SIGMA | 七工匠 |
| Iron Glass | SIRUI | |

◆ 機材協力：株式会社三和映材社 / 株式会社黒澤フィルムスタジオ / EIZO株式会社 / ソニーマーケティング株式会社 / NANLITE / VANLINKS株式会社 / MEDIAEDGE株式会社 / ATOMOS / 株式会社RAID / ローランド株式会社

■ 企画セッション ▶会場：展示ホール3 INTER BEE CINEMA オープンスタージ

11月13日(水)
CI-131 10:30▶11:30
シネマレンズ最前線！ レンズバー解説

パネリスト
 合同会社ARGA 代表 太田黒 哲 氏

映像ライター 林 永子 氏

モデレーター
 株式会社玄光社 編集本部長 川本 康 氏

CI-132 11:35▶11:50
出展者プレゼンテーション

リーダー電子株式会社

CI-133 12:00▶13:00
『TVドラマのシネマトグラフィー』 ~「相棒」におけるケーススタディ~

日本映画撮影監督協会(JSC) 撮影監督 株式会社アップサイド 代表取締役社長 会田 正裕 氏	日本映画撮影監督協会(JSC) ディレクター/シネマトグラファー 高橋 遼 氏
---	---

CI-134 13:05▶13:20
出展者プレゼンテーション

エヌティーアイジャパン株式会社

CI-135 13:30▶13:45
出展者プレゼンテーション

株式会社シグマ

CI-136 13:55▶14:10
出展者プレゼンテーション

株式会社レスター

CI-137 14:20▶14:35
出展者プレゼンテーション

合同会社トワイエイゾ / 株式会社三和映材社

11月14日(木)
CI-141 10:30▶11:30
MPTE AWARDS 大賞受賞「ゴジラ-1.0」 録音・音響効果技術」を語りつくす！

合同会社Famiu 録音・SoundMixe 竹内 久史 氏	合同会社Playful・Sound 音響効果・FoleyArtist 井上 奈津子 氏
--------------------------------	---

モデレーター
 三友株式会社 営業事業部 サウンドスーパーバイザー 村越 宏之 氏

CI-142 11:35▶11:50
出展者プレゼンテーション

三友株式会社

CI-143 12:00▶13:00
Japanese Original Production 広告映像のプロデューサーが見る制作現場のいま

株式会社キラメキ 代表取締役社長 エグゼクティブプロデューサー 石井 義樹 氏	太陽企画株式会社 プロデューサー 大内 まさみ 氏
AOI Pro. 制作第7部 プロデューサー 三須 大輔 氏	映像ライター 林 永子 氏

モデレーター
 株式会社style玄庵 代表取締役 中須 岳士 氏

CI-144 13:05▶13:20
出展者プレゼンテーション

合同会社トワイエイゾ / 株式会社三和映材社

CI-145 13:30▶14:30
撮影現場のアプリ利用 2024 ~「ゴジラ-1.0」で使用されたAR Finder、NHK「100カメラ」アプリ開発について

合同会社9(サーセント)代表 日本映画撮影監督協会(JSC) シネマトグラファー 倉田 良太 氏	日本映画撮影監督協会(JSC) ディレクター/シネマトグラファー 高橋 遼 氏
--	---

CI-146 14:35▶14:50
出展者プレゼンテーション

株式会社レスター

11月15日(金)
CI-151 10:30▶11:30
『最先端映像の登竜門 SXSWとは？』

未来予報株式会社 共同代表 / フューチャリスト 宮川 麻衣子 氏	モデレーター PRONEXUS編集長 猪川 トム 氏
-----------------------------------	----------------------------

CI-152 11:35▶11:50
出展者プレゼンテーション

リーダー電子株式会社

CI-153 12:00▶13:00
アートディレクションを支える 撮影のプロフェッショナル

パネリスト
 株式会社style玄庵 代表取締役 中須 岳士 氏

株式会社goen' 代表取締役 森本 千絵 氏

株式会社ラスロフト 撮影監督 重森 豊太郎 氏

映像ライター 林 永子 氏

CI-154 13:05▶13:20
出展者プレゼンテーション

エヌティーアイジャパン株式会社

CI-155 13:30▶14:30
~日本映画の未来に向けて~ 映適で変わる日本映画の制作現場

一般社団法人 日本映画制作適正化機構 事務局長 大浦 俊将 氏	一般社団法人 日本映画制作適正化機構 理事 浜田 毅 氏
---------------------------------	------------------------------

プロオーディオ部門

2401 (株)アートウィズ
2308 (株)アイコニック
2517 iZotope
2601 アツデン(株)
2412 アプローズシステム(株)
2418 APOGEE
2508 (株)アンブレラカンパニー
2419 WAVES
2501 ウェーブプラス合同会社
2405 (株)HSS Japan
2420 AV-Leader Corporation
2526 AMS Neve
2404 A.O.M.(株)
2002 エクストリームウェーブ
2003 (株)エス・シー・アリアانس SCAサウンドソリューションズ社
3116 (株)エヌエスイー
2515 エヌティイーイジャパン(株)
2312 (株)エレクトリ
2416 (株)オーディオテクニカ
2311 (株)オーディオブレインズ
2512 Audinate
2307 オタリテック(株)
2201 音響特機(株)
3105 オンズ(株)
2306 (株)カエルワークス
2309 (株)クレセント
3107 (株)KEF JAPAN
2403 コーンズテクノロジー(株)
2502 コモドマッティーナ(株)/TAIDEN
3110 (株)コルグ
3112 コンチネンタルファーマーイースト(株)
2610 三研マイクロホン(株)
3101 (株)ジェネレックジャパン
2413 (株)シグマシステムエンジニアリング
2301 (株)静科/(株)ehs.
2406 Japan PreSonus
2613 シュア・ジャパン(株)
2506 Schulze-Brakel GmbH
2602 (株)シンタックスジャパン
2001 (株)スタジオイクイブメント
2303 (株)須山歯研
2204 ゼンハイザージャパン(株)
3115 ソリッドステートロジックジャパン(株)
2523 タスカム/ティアック(株)
2603 タツタ電線(株)
3108 (株)谷沢製作所
2305 (株)タムラ製作所
2312 ディーアンドビー・オーディオテクニク・ジャパン(株)
2612 ディーエスピージャパン(株)
2513 TOA(株)
2505 (有)Digicom
2522 (株)デジタル・ラボラトリー
2521 (株)ナイスカンパニー
3103 日本エレクトロ・ハーモニクス(株)
3212 日本音響エンジニアリング(株)
2310 日本テックトラスト(株)
2605 公益社団法人日本舞台音響家協会
2604 日本舞台音響事業協同組合
3113 ノイトリック(株)
2202 花岡無線電機(株)
2411 (有)パブリックアドレス
2520 ValueHD Corporation
2611 (有)バルス
3212 ヒビノ(株)
2417 ヒビノインターサウンド(株)
3212 ヒビノスペーステック(株)
2417 ヒビノ(株)ヒビノマーケティング Div.
3212 ヒビノライティング(株)
2510 (株)フォービット
2302 フォステクスカンパニー

3212 FULL-TEN
2525 Proceed Magazine
2207 ベステックオーディオ(株)/ピーテック(株)
2415 BOSE PROFESSIONAL
2606 HOLLYVOX
2607 HOLLYVOX/イースベック(株)
2609 星野楽器販売(株)
2511 (有)ポルトアンペア
3111 マス工房
2409 MASCOT ELECTRIC CO., LTD.
2503 Malvicino Design Group
2408 丸文(株)
3109 ミックスウェーブ(株)
2514 (株)ミュージナル
3114 Meyer Sound/リニアサウンドジャパン
2004 (株)モアソソジャパン
2516 モガミ電線(株)
2518 ヤマキ電気(株)
2206 ヤマハ(株)
2206 ヤマハサウンドシステム(株)
2205 (株)ヤマハミュージックジャパン
2206 (株)ヤマハミュージックジャパン
2414 (株)ユーズドネット
2203 リワイアー(株)
2410 LEWITT
2304 ルミネックスジャパン(株)
2524 ROCK ON PRO
3102 (株)ワタナベ楽器店

X-Headphone

2101 (株)アユート
2104 (株)オーディオテクニカ
2106 (株)ジェネレックジャパン
2102 スタックス
2105 (株)ヤマハミュージックジャパン
2104 (株)オーディオテクニカ
2106 (株)ジェネレックジャパン
2103 ローランド(株)

映像制作/放送関連機材部門

7418 アークベンチャーズ(株)
4602 RFデザイン(株)
8223 (株)アイ・オー・データ機器/ウエストンデジタル合同会社
4601 (株)アイ・ディー・エクス
5501 ITGマーケティング(株)
6401 (株)アイ・ディ・ケイ
4302 アイベックステクノロジー(株)/
3206 Irix Lens
3411 奥拓電子日本(株)
4506 Accsoon
7102 (株)アサカ
8405 (株)浅沼商会
3507 アストロデザイン(株)
6404 AstrHori / SG-image / E&Iクリエイション(株)
4203 ATEME
7513 アビッドテクノロジー(株)
3408 (株)アプコット
5106 (株)AbemaTV
4203 Amagi
4203 アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
5215 アリスタネットワークスジャパン合同会社
7512 アリドレムネクスト(株)
6401 (株)アルパニクス
8103 (株)アルモア
3603 (株)アンバーサイン
5511 池上通信機(株)
8217 石川テレビ放送(株)
8308 (株)石川トランク製作所
4205 伊藤忠ケーブルシステム(株)
4203 イノテック(株)
4312 (株)イノベーターワン
5304 イメージニクス(株)

(株)イメージネット
5507 イメージビジョン(株)
7202 (株)インターネットイニシアティブ
4604 (株)インテリジェント ウェイブ
4409 インフィレッド・ジャパン(株)
4201 ウィンダムプロダクションソリューションズ(株)
6201 ウィンダムメディアソリューションズ(株)
4405 (株)ヴィレッジアイランド
5106 (株)WinTicket
4610 Well Buying Industrial Co., Ltd.
8104 (株)内田洋行
4512 AJA/Vizrt/iodyne/Kiloview/GB Labs
7413 EIZO(株)
5605 H3C Japan Technologies合同会社
5503 営電(株)
5401 ATENジャパン(株)
6302 エイム電子(株)
5111 (株)エーエスシー
8225 エーティ コミュニケーションズ(株)
5306 (株)エーディテック
8224 (株)エクスプローラ
5118 SEHテクノロジー
3308 SET(ブラジルテレビ技術協会)
5604 SDJ(株)
4313 NEC
5001 エヌ・イー・ピー(株)
8502 (株)NHKエンタープライズ
8501 (株)NHKテクノロジーズ
8503 NHK/JEITA
3120 NAB Show
8307 (株)NKL
8408 (株)エヌジーシー
5114 NTTインベーティブデバイス(株)
8214 (株)NTT Sportict
4303 (株)NTTデータ
4203 エバージェント テクノロジーズ
6503 (株)M&Next
8309 (有)M-Tec JAPAN
8216 (株)おいぬビジョン
8306 OWC ASIA INC
5202 (株)オーディオストック
3310 Audio Network Japan KK
4513 (株)オール
8305 オタリテック(株)
5614 OSEE TECHNOLOGY LTD.
8307 OBSBOT
6501 (株)オプトハブ
3405 (株)加藤電気工業所
5303 カナレ電気(株)
4511 カベラ(株)
5607 川崎重工業(株)
8218 第10回関西放送機器展
3402 (株)ガンズイ
4304 (株)カンバス
5105 Gigatronix Ltd
5308 キヤノン(株)/キヤノンマーケティングジャパン(株)
5603 熊本市
7309 グラスバレー(株)
3601 (有)グルーヴ
5510 クロスイメージング(株)
5610 (株)K-WILL
8403 (株)ケンコー・トキナー
6301 (株)ケンコープロフェッショナルイメージング
7515 国際照明(株)
3406 (株)五常
5406 (株)コスミックエンジニアリング
3305 コダック ジャパン
3309 KOBA (KOREA E&EX INC.)
3301 Comart System Co., Ltd.
8221 コムーネリベラルホールディングス(株)
6103 (株)サードウェーブ
5504 (株)サイトロンジャパン

5115 (株)サムウエイ
5501 Samsung SSD
8407 三信電気(株)
5605 サンテレホン(株)
3502 (株)三和映材社
8403 ZHIYUN
4609 JEITA テープストレージ専門委員会
4306 Shenzhen Justek Technology Co.,Ltd
8220 (株)シナジー
5404 ジャパンマテリアル(株)
3313 上海捷涌科技有限公司
6405 (株)焦点工房(7Artisans/中一光学/DULENS)
5307 (株)昭特製作所/(株)レントアクト昭特
3304 SIRUI JAPAN(株)
8106 (株)Synk
6102 SHIMBOL
5209 スカパー JSAT(株)
6205 有限責任事業組合スタジオインフィニティ
3401 スタック電子(株)
8404 (株)スパイス
7512 (株)スピンドigitalアジアパシフィック
4301 SmallRig Technology (HK) Limited
5602 (株)スリー・エム
8403 スリック(株)
3303 (株)精工技研
5207 セイコーソリューションズ(株)
4508 摂津金属工業(株)
5402 Semtech Corporation
8408 (株)Cerevo
5606 Celerity Technologies
8108 ソニービズネットワークス(株)
8108 ソニーマーケティング(株)
8108 ソニーワイヤレスコミュニケーションズ(株)
4406 Dahua Technology Japan合同会社
5112 ターボシステムズ(株)
8219 ダイナコムウェア(株)
4611 Taiwan Electrical and Electronic Manufacturers' Association
4404 Tuxera Japan(株)
7310 タックシステム(株)
8310 タツタ電線(株)
4309 CHIEF/映像センター
5302 Zhongshan Cayer Photographic Equipments CO.,Ltd.
3311 DZOFILM
4407 TVU Networks
4501 (株)DTSインサイト
8213 DDP-Dynamic Drive Pool
5405 TILTA
4203 Datadog Japan合同会社
3210 (株)テクニカルファーム
8408 (株)テクノハウス
4202 デジキャス合同会社
5506 TESmart(株)
4311 デル・テクノロジーズ(株)
4305 テレストリームジャパン合同会社
5206 テレダイン・レクロイ
5108 (株)テレビ朝日クリエイト
3407 (株)テレビ北海道
3319 一般社団法人電波産業会
5505 (株)Too
8105 Dongguan YC Onion Network Technology Co., Ltd
6403 東京エレクトロニクスデバイス(株)
7203 東芝インフラシステムズ(株)
7203 東芝デジタルソリューションズ(株)
7203 東芝ライテック(株)
5203 (株)東通インターナショナル
4203 (株)トラフィック・シム
5109 (株)トラフィック・シム
4204 (株)ナックイメーケティング/ (株)アスク
6502 Nash Music Library
6101 NIXUS by 日興通信
4401 (株)ニコン
5502 NiSi

5403 ニックヤビ(株)/(有)ブランネット
5205 日鉄溶接工業(株)
3317 協同組合 日本映画撮影監督協会
3315 一般社団法人日本映画制作適正化機構
8222 日本シーゲイト(株)
3302 日本通信機(株)
4303 日本テレビ放送網(株)
4002 (株)日本ビデオシステム
7415 日本無線(株)
4203 New Relic(株)
4507 Nextorage(株)
4607 ネットアップ合同会社
5301 ネットギアジャパン合同会社
5204 ノックス(株)
4103 Harmonic Japan合同会社
8311 (株)バイオス
4605 ハイテックインター(株)
4203 バイトプラス
3305 HIGHLAND SUPER 8 LAB
8102 (株)パオックス/加賀ソルネット(株)
3002 箱馬×メタルトイズ
4206 パナソニック コネクト(株)
4515 ハルコ(株)
7310 (株)PALTEK
4606 バンドワイドコーポレーション日本支社
5113 (株)ピーテック
5214 ビジュアル・グラフィックス(株)
7308 (株)日立国際電気
5116 ビデオトロン(株)
8408 ヒビノ(株)
4101 平河ヒューテック(株)
4203 (株)フォトロン
7306 (株)フォトロン
7411 (株)フォトロン HARBOR
7204 富士フィルム(株)
4502 (株)府中技研
5211 (株)芙蓉ビデオエイジェンシー
6204 フラウンホーファー IIS
5305 ブラックボックス・ネットワークサービス(株)
8409 ブラックマジックデザイン(株)
8406 (株)フラッシュバックジャパン
8309 (株)PlanD
4505 プリミックス(株)
4203 (株)PLAY
4408 (株)PLAY
5201 プロードデザイン(株)
3303 (株)プロスパー電子
3410 PRONEWS
3321 Prolight + Sound Guangzhou
5102 Beijing Tianying Vision Technology Co., Ltd.
5407 平和精機工業(株)/Libec
5117 (株)朋栄
5001 (株)放送技研
6203 HOLLYLAND
6303 Hohem
3307 (株)マウスコンピューター
5509 (株)マウビック
4404 (株)マクニカ
6301 マッシュー スタジオ エキップメント
5101 松田通商(株)
8405 マルミ光機(株)
5615 (有)ミサオネットワーク
6301 ミソニクス
5107 三井物産エアロスペース(株)
6402 三友(株)
5601 緑屋電気(株)
3211 ミハル通信(株)
6501 ミマキ電子部品(株)
5210 武蔵(株)
4503 明京電機(株)
6202 (株)メイコー
3001 メタルトイズ

5609 (株)メディアリンクス
4102 (株)モリサワ
5213 ユアサエ機(株)
4608 YUAN HIGH-TECH DEVELOPMENT CO., LTD.
5103 ユーエーシー(株)
4203 (株)ユニオンシステムズ
7307 (株)ユニテックス
7414 (株)ユニテックス
8312 LiveU Japan(株)
3205 (株)ラグナビルズ/DATATON AB
4603 (株)ラムダシステムズ
3404 リーダー電子(株)
6001 Riedel Communications GmBH & CO.KG
4302 (株)理経
4402 (株)RIP-TIE
3403 LYNX Technik AG
4001 (株)RAID
4504 (株)RAID
5508 レイヤーDジャパン(株)
5212 (株)レオフォトジャパン
7310 (株)レスター
3306 RECシステム(株)
5208 ローランド(株)
6406 ロジックデザイン
INTER BEE CINEMA
— シネマカメラ展示 —
3701 キヤノン(株)/キヤノンマーケティングジャパン(株)
3701 ソニーマーケティング(株)
3701 富士フィルム(株)
3701 ブラックマジックデザイン(株)
— シネマレンズ展示 —
3701 キヤノン(株)/キヤノンマーケティングジャパン(株)
3701 (株)サイトロンジャパン
3701 Shenzhen Dongzheng Optical Technology Co., Ltd.
3701 (株)シグマ
3701 (株)焦点工房
3701 SIRUI JAPAN(株)
3701 Second Reef GmbH
3701 NiSi
3701 三友(株)
3701 (株)RAID
— プロダクト展示 —
3706 エヌティイーイジャパン(株)
3710 Angelbird Technologies GmbH
3709 (株)シグマ
3702 (株)SWITCH
3704 (株)テクニカルファーム
3703 合同会社 トワイエノ/(株)三和映材社
3707 富士フィルム(株)
3708 三友(株)
3711 リーダー電子(株)
3705 (株)レスター

エンターテインメント/ライティング部門

5613 アガイ商事(株)
6111 Aputure Imaging Industries Co.,LTD
6413 EK lights
6212 SMVD Lighting system/レイクブラッ
6105 ONUMEN TECHNOLOGY CO.,LTD
6108 公益社団法人劇場演出空間技術協会
6411 江東電気(株)
6409 GODOX Photo Equipment Co.,Ltd.
5611 一般財団法人最先端表現技術利用推進協会
6211 (株)SAEDA
6106 Shenzhen Gloshine Technology Co., Ltd
6304 Shenzhen Scenico Optoelectronic Co. Ltd.
6408 Shenzhen Liantronics Co., Ltd.
5612 Zhuzhou Vod Visual Technology Co.,Ltd
6305 Zhangzhou SEETEC Optoelectronics Technology Co., Ltd.
6506 (株)ボcek
6412 (株)トライサイト
6507 名古屋テレビ放送(株)

6213 NANLITE/NANLUX (VANLINKS(株))
6207 Harlowe
6209 HIKVISION JAPAN(株)
6505 Hyundai Fomex Co., Ltd.
6110 FABULUX LED
6109 PROFOUND
6407 プロフォト(株)
6107 マイルランテック
6504 緑屋電気(株)
6410 (株)メディアプラス
6306 (株)レッドクリフ
6307 (株)和映
— INTER BEE IGNITION × DCEXPO —
6619 アジアグラフ2024 CG アートギャラリー
6617 ViXion(株)
6622 (株)X
6618 XRLab@NTUT&GoldenSlash(台湾)
6623 (株)エボルブ
6614 (株)カシカ
6620 Google (Project Starline)ビデオ展示
6651 SIGGRAPH Asia 2024
6615 0-9studio
6650 (株)TOKYO EPIC
6624 (株)Driving Plates
6616 日本テレビ×サンミュージック×TASKO
6621 (株)ハシラス
6652 (株)polygros
TechBiz
6605 (株)HKSK
6604 Auto VR(株)
6606 サイバー南無南無
6602 (株)SceneryScent
6607 (株)Pocket RD
6603 ユカイ工学(株)
6609 LOOVIC(株)
TIP
6613 慶應義塾大学院 Embodied Media Project
6612 奈良先端科学技術大学院大学/東京大学
6611 Hapbeat合同会社/東京工業大学大学院
6610 明治大学 宮下芳明研究室
— スタートアップ&ユニバーシティ —
6637 (株)amulapo
6626 (株)iishina
6634 WELL-BEING TECHNOLOGY
6635 クオンプラス(株)
6632 JP UNIVERSE(株)
6631 (株)CinemaLeap
6628 (株)ShortStop
6636 (株)zeroion・富山県立大学
6625 ダブルネスト
6639 チーム「四人称」(東京大学情報理工学系研究科 システム情報学専攻所属学生)
6633 (株)テイラーイノベーションズ
6638 TechGALA Japan
6640 東京大学 寛康明研究室
6627 長崎大学 田中研究室
6629 (株)Portalgraph
6630 (株)Bocek

メディア・ソリューション部門

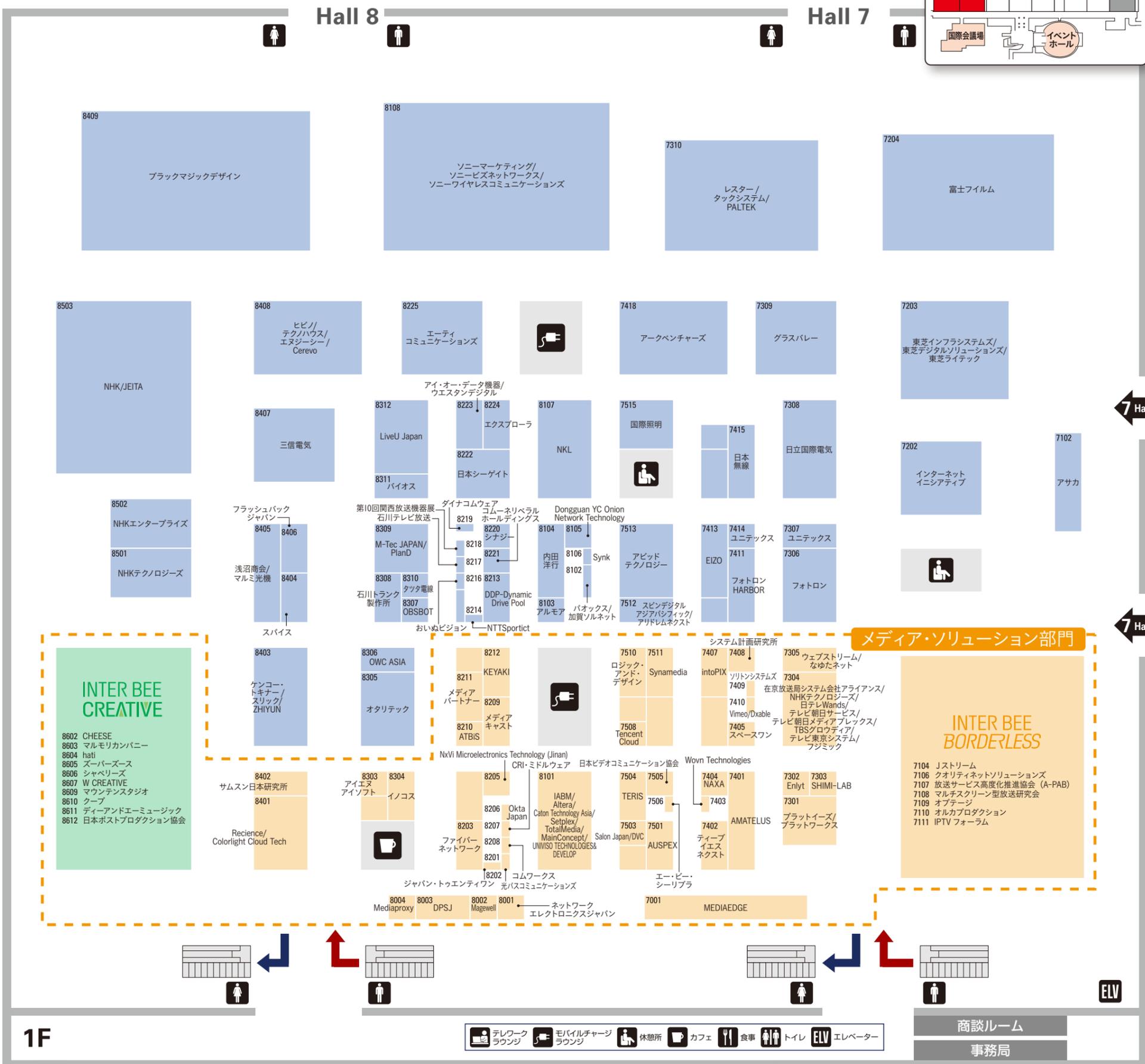
8303 (株)アイエヌアイソフト
7501 AUSPEX(株)
7401 AMATELUS(株)
8304 (株)イノコス
7407 intoPIX
7305 (株)ウェブストリーム
7403 Wovn Technologies(株)
8210 ATBIS
7506 (株)エー・ビー・シーリブラ
7304 (株)NHKテクノロジーズ
8205 NxVi Microelectronics Technology (Jinan) Co., Ltd.
7302 (株)Enlyt

8206 Okta Japan(株)
8401 Colorlight Cloud Tech Ltd
8212 KEYAKI(株)
8208 (株)コムワークス
8402 (株)サムスン日本研究所
7503 Salon Japan
8207 (株)CRI・ミドルウェア
7408 (株)システム計画研究所
7511 Synamedia
7303 (株)SHIMI-LAB
8202 ジャパン・トゥエンティワン(株)
7405 (株)スペースワン
7404 (株)ソリトンシステムズ
7309 (株)TBSグローバルメディア
8300 DPSJ
7402 (株)ティーアイエスネクスト
7503 (株)DVC
7504 TERIS
7304 (株)テレビ朝日サービス
7304 (株)テレビ朝日メディアブレックス
7304 (株)テレビ東京システム
7508 Tencent Cloud
7404 NAXA(株)
7305 (株)なゆたネット
7304 (株)日テレWands
7505 特定非営利法人日本ビデオコミュニケーション協会
8001 ネットワークエレクトロニクスジャパン(株)
8201 (株)光バスコミュニケーションズ
7410 Vimeo / Dxable
8203 (株)ファイバーネットワーク
7304 (株)フジミック
7301 (株)プラットイーズ
7301 (株)プラットワークス
8002 Magewell
7001 MEDIAEDGE(株)/ATOMOS
8209 (株)メディアキャスト
8004 Mediaproxy
8401 Recience
7510 (株)ロジック・アンド・デザイン
— INTER BEE BORDERLESS —
7111 一般社団法人IPTVフォーラム
7109 (株)オブテージ
7110 (株)オルカプロダクション
7106 クオリティネットソリューションズ(株)
7104 (株)Jストリーム
7107 一般社団法人放送サービス高度化推進協会(A-PAB)
7108 マルチスクリーン型放送研究会
— INTER BEE CREATIVE —
8610 (株)クープ
8611 (有)ディーアンドエーミュージック
8612 一般社団法人日本ポストプロダクション協会
— 動画マーケティングラウンジ —
8606 (株)シャベリーズ
8605 合同会社ズーパーズー
8607 W CREATIVE(株)
8602 CHEESE
8604 (株)hati
8603 (株)マウンテンスタジオ
8609 (株)マルモリカンパニー
— IABM Pavilion —
8101 Altera (an Intel Company)
8101 IABM
8101 Caton Technology Asia Pte Ltd
8101 Setplex
8101 TotalMedia Inc.
8101 MainConcept
8101 UNIVISO TECHNOLOGIES&DEVELOP LIMITED
— オンライン限定出展 —
(株)NTTデータ



映像制作/放送関連機材部門

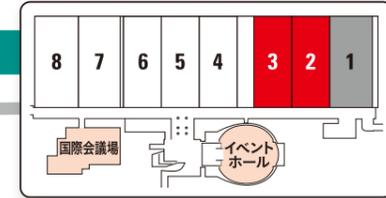
メディア・ソリューション部門



1F

映像制作/放送関連機材部門

プロオーディオ部門



Hall 3

Hall 2

プロオーディオ部門

INTER BEE CINEMA

3701 SWITCH
3703 トワイエイゾ/三和映材社
3704 テクニカルファーム
3705 レスター
3706 エヌティーアイジャパン
3707 富士フィルム
3708 シグマ
3709 Angelbird Technologies
3710 リーダー電子

キャノン/キャノンマーケティングジャパン
ソニーマーケティング
富士フィルム
ブラックマジックデザイン
サイトロンジャパン
Shenzhen Dongzheng Optical Technology
シグマ
(株) 焦点工房
SIRUI JAPAN
Second Reef
NiSi
三友
RAID

2417 ヒビノ/ヒビノマーケティング Div./ヒビノインターサウンド

2312 ディーアンドビー・オーディオテクニク・ジャパン

2207 ベステックオーディオ/ピーテック

3507 アストロデザイン

3411 奥拓電子日本

3212 ヒビノ/FULL-TEN/ヒビノライティング/ヒビノスペーステック/日本音響エンジニアリング/エレクトリ

2613 シュア・ジャパン

2416 オーディオテクニカ

2311 オーディオブレインズ

2206 ヤマハミュージックジャパン/ヤマハ/ヤマハサウンドシステム

3603 アンバーサイン
3601 グループ

3410 PRONNEWS

3211 ミハル通信
3214 SIRUI JAPAN
3210 テクニカルファーム

3115 ソリッドステートロジックジャパン
3114 Meyer Sound/リニアサウンドジャパン
3116 エヌエスイー
3113 ノイトリック

2523 タスカム/ティアック
2522 デジタルラボラトリー
2521 ナイスカンパニー

2415 BOSE PROFESSIONAL
2310 日本テックトラスト
2309 クレセント
2308 アイコニック

2205 ヤマハミュージックジャパン

4 Hall 3

4 Hall 3

3503 プロスパー電子
3502 三和映材社

3409 INTER BEE DX x IP ANEX
3408 アプロット
3407 テレビ北海道

3313 上海捷浦科技
3209 ARスタンプリアー
3311 DZOFILM
3310

3111 マス工房
3112 コンチネンタルファースト
3109

2611 バルス
2612 ディーエスピージャパン
2520 ValueHD
2524 ROCK ON PRO
2525 Proceed Magazine
2526 AMS News
2518 ヤマキ電気
2517 izotope

2419 WAVES
2411
2412
2418 APOGEE
2420
2410 LEWITT
2409

2307 オタリテック
2306 カエルワークス

3501 INTER BEE DX x IP PAVILION

3406 五常
3405 加藤電気工業所
3308 SET
3309 KOBA
3319 ARIB
3320 NAB Show
3307
3321
マウスコンピューター
3306 RECシステム

3205 ラグナヒルズ/DATATON
3206 Irix Lens

3107 KEF JAPAN
3108 谷沢製作所
3105 オンズ

2515 エヌティーアイジャパン
2516 モガミ電線
2514 ミュージカル
2512 TOA
2513 Audinate

2406 Japan PreSonus
2408 丸文
2405 HSS Japan
2404 A.O.M.

2305 タムラ製作所
2304 ルミネックスジャパン

3404 リーダー電子
3403 LYNX Technik
3401 スタック電子
3402 ガンスイ

3303 精工技研
3302 日本通信機
3305
3301 Comart System

3201 INTER BEE DX x IP PAVILION リレー技術セミナー

3102 日本エレクローハーモニクス
3103
3101 ジェネレックジャパン

2605 日本舞台音楽家協会
2606 HOLLYVOX
2604
2607 HOLLYVOX/イースベック
2608 スズム
2601 アッデン
2603 タツタ電線
2602 シンタックスジャパン

2506 Schultze-Brakel
2508
2505
2503
2510 フォービット
2511 ポルトアンペア
2501 ウェーブプラス

2403 コーンズ テクノロジー
2401 アートウィズ
2302 フォステクスカンパニー
2303 須山歯研
2301 静科/ehs.

3002 箱馬×メタルトイズ
3001 メタルトイズ

2004 Malvicino Design Group
2003 エス・シー・アライアンス SCAサウンドソリューションズ社

2002 エクストリームウェブ
2001 スタジオイクイPMENT

INTER BEE EXPERIENCE

- X-Headphone**
- 2101 アウト
 - 2102 スタックス
 - 2104 オーディオテクニカ
 - 2105 ヤマハミュージックジャパン
 - 2106 ジェネレックジャパン
- X-Microphone**
- 2103 ローランド
 - 2104 オーディオテクニカ
 - 2106 ジェネレックジャパン

Inter BEE ランチ&カフェスポット

展示ホール 3&8 **“TSUNAGU” COFFEE MARCHE**

ご来場の皆様へ見学の合間や商談のおともに美味しいコーヒーを提供しました。

“TSUNAGU” COFFEE MARCHE



ロケ弁クラブ

現場のパワーを引き出す陰の主役・ロケ弁。バラエティ豊かな厳選8店舗が出展しました。

ドルフィン、幕天、BENT-BENT 麻布十番店
LUNCH FACTORY、天麩羅Dining 和木、tono cafe
Baran、らーめん106 (トム) feat.花悠



最新デバイスで見るInter BEE

未来からきた青年(ときお)と一緒にARの世界で構成されたInter BEEの歴史と未来をVRでご覧いただきました。



ARスタンプリアー

スマートフォンのAR機能を使った新感覚スタンプリアー。会場内にあるチェックポイントをまわってスタンプを集め、5つクリアした来場者へARガチャで景品を進呈しました。

INTER BEE AWARD 2024

Inter BEE に出展される製品・技術・サービス・ソフトウェア及びコンテンツ等から、優れた展示案件に対して表彰し内外に発表する「INTER BEE AWARD」を新設しました。
メディア & エンターテインメント産業分野の活性化と将来に向けた進展、同分野における技術の進捗や多様な創造活動の発展に寄与することを目的として実施し、審査委員会による厳正な審査により選出されました。



プロオーディオ部門賞

◆グランプリ

案件名： SMPTE ST2110 に対応する小型音声卓『TASCAM Sonicview シリーズ』と ST2110 オプションカード『IF-ST2110』
会社名： ティアック株式会社



◆準グランプリ

案件名： UNIO PRM (パーソナル・リファレンス・モニタリング・ソリューション)
会社名： 株式会社ジェネレックジャパン



コンテンツ制作/放送・メディア(ハードウェア&ソフトウェア)部門賞

◆グランプリ

案件名： BURANO 先進機能のハイエンド映像制作への貢献
会社名： ソニーマーケティング株式会社



◆準グランプリ

案件名： バーチャルマスターオペレーター(VMO)
会社名： 株式会社テレビ北海道



◆準グランプリ

案件名： 高精度&高可用性の PTP グランドマスタークロック TS-2950
会社名： セイコーソリューションズ株式会社



エンターテインメント/ライティング/映像表現部門賞

◆グランプリ

案件名： GATZUNT XR
会社名： 株式会社ハシラス



◆準グランプリ ※該当案件なし

Exhibitor Profile

部門別出展状況

展示部門	出展者数	小間数
プロオーディオ	272	338
エンターテインメント/ライティング	100	159
映像制作/放送関連機材	565	1,193
メディア・ソリューション	121	121
合計	1,058	1,811

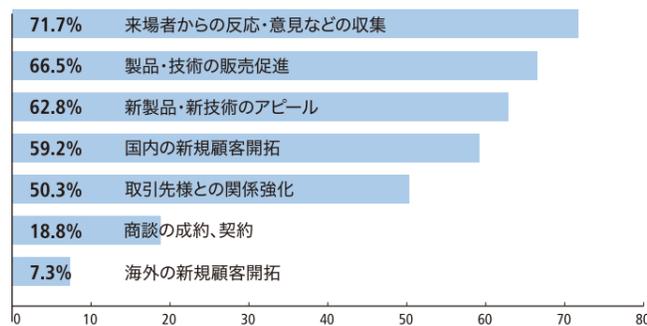
出展者数: **1,058**社 出展国・地域数: **36**カ国・地域

登録出展者数の内訳

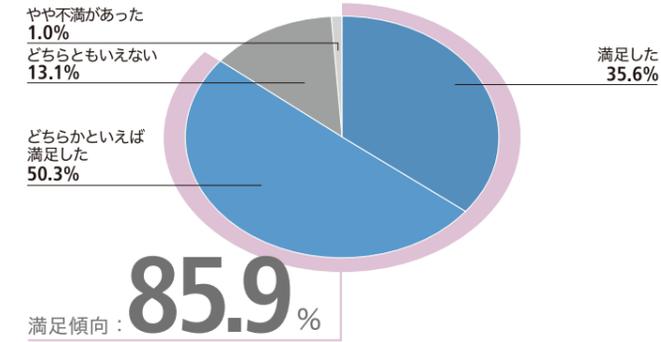
エリア	国・地域数/出展者数	国・地域数/出展者数
日本国内	1カ国/503社	日本 503
アジア地域	8カ国・地域/177社	中国 118/韓国 26/台湾 24/タイ 3/香港 3/インドネシア 1/シンガポール 1/マレーシア 1
北中南米地域	4カ国/161社	アメリカ 144/カナダ 14/メキシコ 2/コスタリカ 1
大洋州・中東・アフリカ地域	2カ国/15社	オーストラリア 8/イスラエル 7
ヨーロッパ地域	21カ国/202社	ドイツ 53/イギリス 43/フランス 15/イタリア 13/デンマーク 10/ベルギー 10/オランダ 9/スイス 8/スウェーデン 7/ルウェー 6/オーストリア 5/ポーランド 5/スペイン 4/ハンガリー 4/トルコ 2/フィンランド 2/ラトビア 2/アイルランド 1/エストニア 1/クロアチア 1/リヒテンシュタイン 1
	36カ国・地域	1,058社

出展者アンケート

◆出展した目的【複数回答】

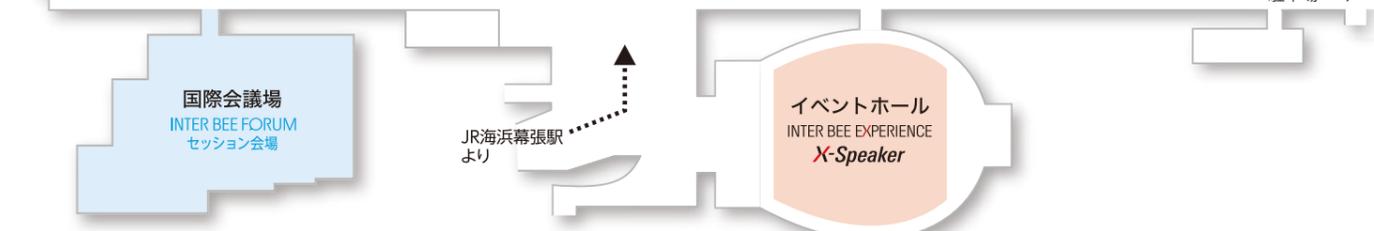
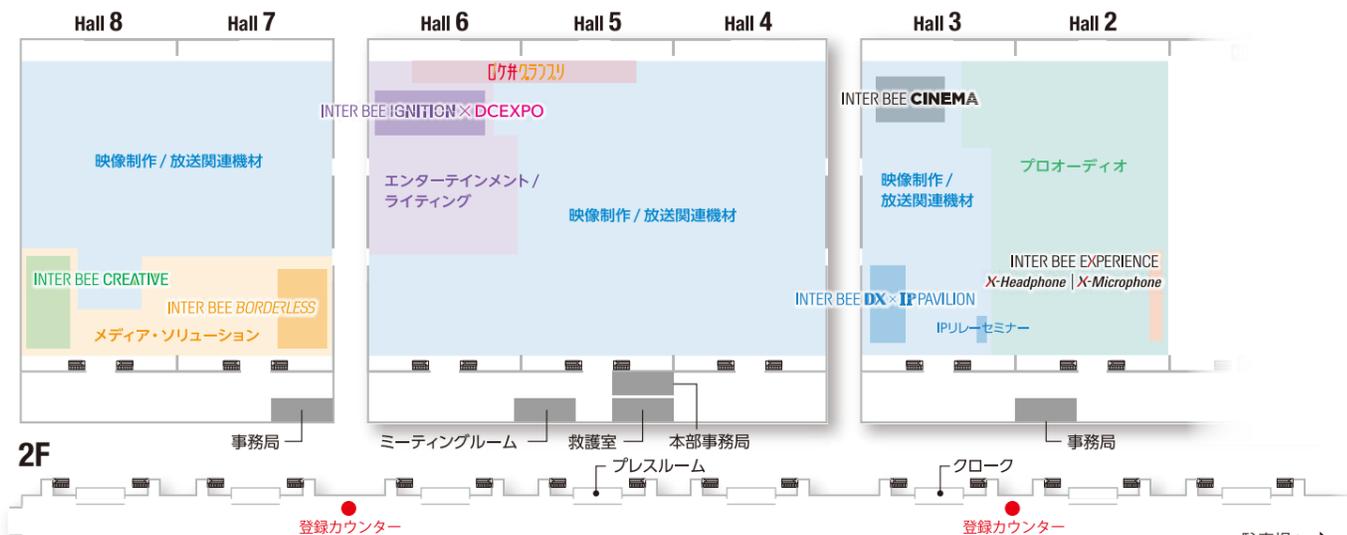


◆今回の目的達成の満足度



会場構成

国際展示場 1F



Visitor Profile

日別登録来場者数

	11/13 (水)	11/14 (木)	11/15 (金)	合計
国内登録来場者数	11,537	10,970	10,341	32,848名
海外登録来場者数	665	221	119	1,005名
合計	12,202	11,191	10,460	33,853名

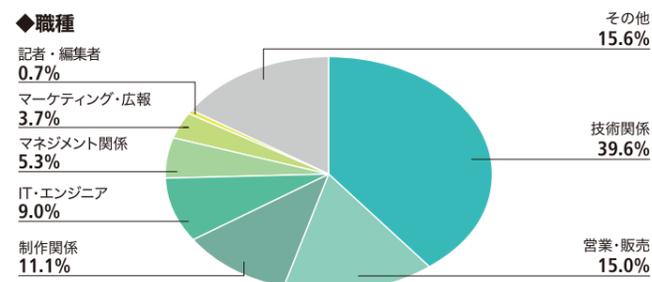
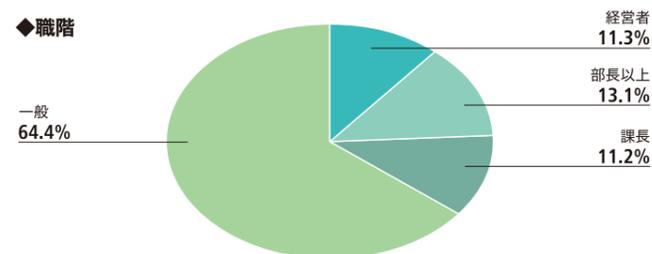
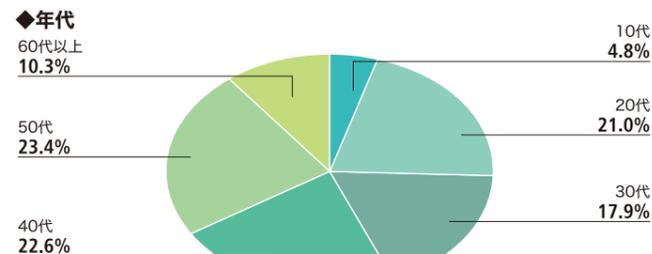
登録来場者数: **33,853** 名

オンライン来訪者ユニーク数: **16,937** 名
(期間: 10月3日10時~12月13日17時)

登録来場者数の内訳

エリア	国・地域数/来場者数	国・地域別の来場者数
日本国内	1カ国/32,848名	日本 32,848
アジア地域	14カ国・地域/758名	韓国 322/中国 156/台湾 96/タイ 45/インドネシア 38/香港 38/シンガポール 24/ベトナム 15/マレーシア 8/フィリピン 7/インド 4/ミャンマー 3/カンボジア 1/モンゴル 1
北中南米地域	4カ国/49名	アメリカ合衆国 38/カナダ 9/キューバ 1/メキシコ 1
大洋州地域	1カ国/18名	オーストラリア 18
中東・アフリカ地域	4カ国/10名	アラブ首長国連邦 4/トルコ 3/イスラエル 2/サウジアラビア 1
ヨーロッパ地域	13カ国/69名	イギリス 27/ドイツ 9/オランダ 5/フランス 5/ノルウェー 5/ロシア 4/イタリア 3/ベルギー 3/オーストリア 2/スペイン 2/ラトビア 2/アゼルバイジャン 1/ポーランド 1
不明		101
合計	37カ国・地域	33,853

来場者の属性



◆業種

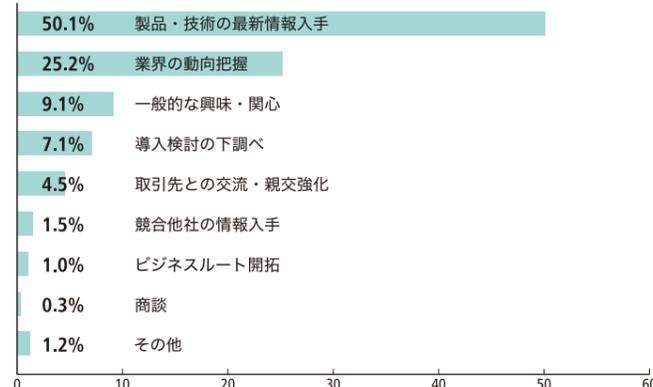
機器メーカー	14.4%	インターネット関連・Web制作・Webサービス	2.4%
民間放送テレビ局	9.3%	舞台・演出・美術・照明・ファッション関連	2.4%
映画・映像制作会社・ビデオグラファー	7.3%	CATV関係	2.1%
その他ゲスト	5.9%	興行・イベント企画・広告代理店	1.7%
システムインテグレーション	5.8%	官公庁・団体	1.5%
ポストプロダクション	5.2%	劇場・娯楽・施設・店舗関係	1.5%
その他ユーザ	4.9%	コンテンツ配信事業者	1.5%
商社	4.8%	レコード制作会社・音楽制作・音楽家	1.3%
PA関係	3.7%	その他メディア(出版・Web等)	1.2%
プロダクション	3.6%	民間放送ラジオ局	0.8%
NHK	3.4%	ビデオソフト制作会社	0.3%
コンテンツ制作関連	3.0%	学生	9.4%
通信事業者	2.6%		

◆関心(複数回答)

映像機器全般	54.6%	送出システム	8.9%
オーディオ機器全般	37.1%	サーバ・ストレージ	8.3%
カメラ	26.3%	OTT,SNS,セカンドスクリーン関連	8.1%
配信システム	16.8%	送信システム	7.5%
編集・制作装置	15.8%	広告/マーケティングサービス	7.5%
スピーカー	15.3%	パブリックビューイング プロジェクションマッピング,デジタルサイネージ	7.2%
映像モニタ	14.2%	デジタルシネマ	6.0%
クラウドサービス関連	13.8%	各種特機・周辺製品	5.6%
マイクロホン	13.4%	制作管理システム	5.6%
ミキサ	13.3%	美術・舞台演出関連	5.5%
VR, AR, 3D, メタバース	13.1%	測定機器	4.9%
デジタルコンテンツ	12.6%	VTR・メモ리카ード・光ディスク	4.0%
ソフトウェア	11.8%	電源装置	3.8%
照明機器	11.4%	その他	1.5%
中継システム	10.1%		

来場者アンケート

◆『Inter BEE 2024』にご来場された目的を教えてください。



◆あなたが関与する製品・サービスの購入・導入に対する予算は、おおよそ年間いくらくらいですか。

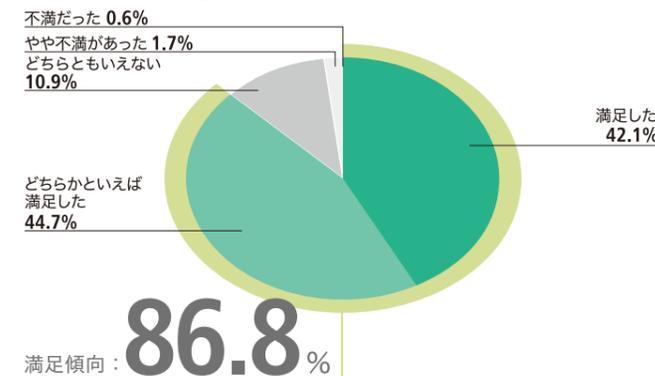


◆『Inter BEE 2024』で過ごされた時間を教えてください。2日以上ご来場の場合は、一番長く過ごされた時間でお知らせください。

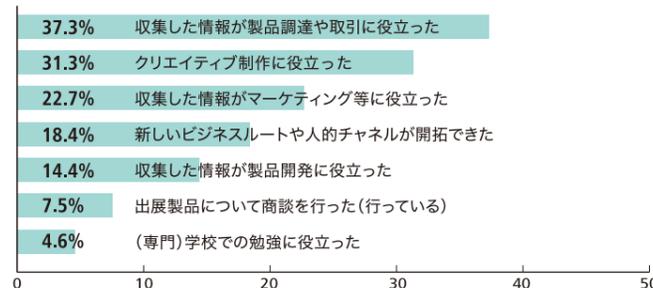


67%の人が4時間以上滞在しています

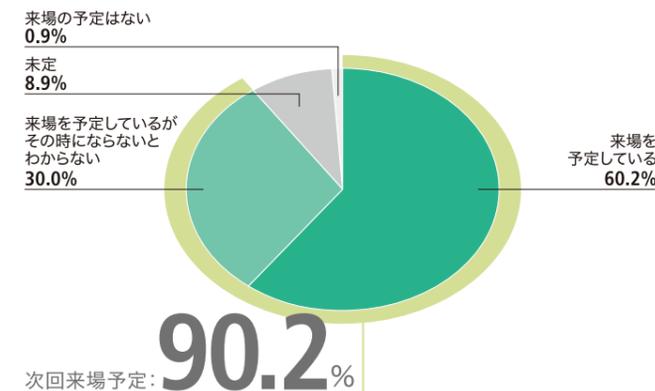
◆『Inter BEE 2024』全体を通して、どの程度満足しましたか。



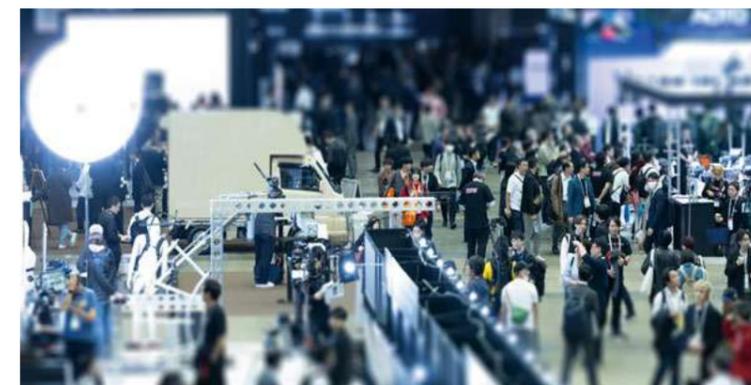
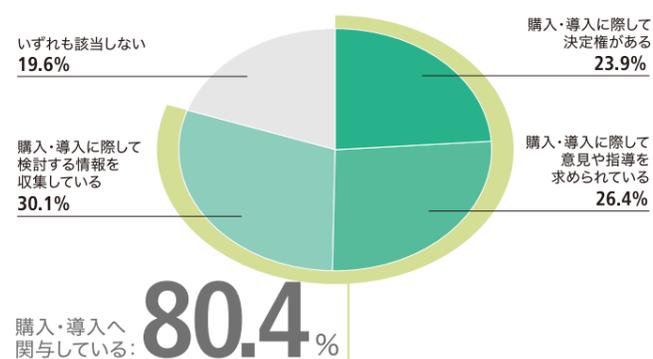
◆『Inter BEE 2024』を見学して、その後のビジネスに役立ちましたか。(複数回答)



◆『Inter BEE 2025』にご来場いただけますか。



◆御社での製品・サービスの購入・導入にあたって、あなたはどの程度関与されていますか。



Publication and Promotion

■ 広報活動(プレスリリース配信実績)

- *出展募集開始告知リリース(3/1)
- *特別企画『INTER BEE CINEMA』新設リリース(4/3)
- *来場事前登録開始リリース(10/3)
- *開幕告知リリース(11/12)
- *『INTER BEE AWARD』部門賞告知リリース(11/14)
- *Inter BEE 2024 閉幕リリース(11/18)

■ プレス登録者数

227名

■ 主な掲載WEB NEWS (※順不同)

PRONWS	IT media news
PRTIMES	AV Watch
電波タイムズ	電波新聞デジタル
VIDEO SALON	CAPA CAMERA WEB
PHILE WEB	YahooNEWS
ASCII.jp	日刊工業新聞
Screens	産経新聞
マイナビ NEWS	山陽新聞
Value Press	日本経済新聞
MICE TIMES ONLINE	

■ 主な掲載紙誌 (※順不同)

映像新聞	FDI
Sound&Recording	特ラ機構
JPPA	Event Marketing
月刊ニューメディア	ビデオ通信
日本映画テレビ照明協会 協会誌	月刊B-maga
見本市展示会通信	

■ 広告掲載 (※WEB/バナー含む)

映像新聞	PRONWS
B-maga(サテマガ・ビー・アイ)	日本映画テレビ照明協会
ビデオ通信	電波タイムズ
IABM	リットーミュージック
兼六館出版株式会社	NEWS Picks
(株)アベルザ	月刊ニューメディア
(株)ユニワールド	日本ビデオコミュニケーション協会
(株)玄光社	特ラ機構
(有)ユニ通信社	月刊 イベントマーケティング by MICE 研究所

■ 放映実績

放送日	局	番組名
11月13日(水)	フジテレビ	LiveNewsイット! FNNLiveNewsα
	ABEMA-TV	ABEMA News
	千葉テレビ	newsチバ 18:00- newsチバ 21:30-
11月14日(木)	フジテレビ	めざまし8
	ABEMA-TV	ABEMA Morning #1 ABEMA Morning #2
11月15日(金)	ラジオ日本	Happy Voice from YOKOHAMA
11月22日(金)	BAYFM78	AWAKE

■ Inter BEE Official Mail Magazine

経年的に蓄積している来場者データベースに向けて最新情報を配信。

2024年1月~12月: 配信 **39**件

1回の配信総数 **106,662**件 ※2024年12月3日時点

■ Inter BEE 公式Website

Inter BEEの出展者情報やプレスリリースをオンライン上で発信。
関連イベントや業界の話題性の高い情報を年間を通じてお届けしています。

◆サイト訪問数
(2024年3月~12月)

710,528セッション

◆Online Magazine 記事掲載数

97件

■ 公式 X

◆フォロワー数:

5,246件 (前年比 115.9%)

◆投稿数:

366件

◆ポストインプレッション:
(2024年1月~12月)

5,214,185件

■ 公式Facebook

◆フォロワー数:

6,034件 (前年比 102.2%)

◆投稿数:

239件

◆年間リーチ数:

783,993件

■ 公式Instagram

◆フォロワー数:

2,147件 (前年比 124%)

◆投稿数:

195件



次回開催のご案内

New Era of Media: Shaping the Future of Content Business

エンターテインメントの情熱とメディアの革新が新時代を切り拓く。
プロフェッショナルが集うメディア総合イベント Inter BEE



Broadmedia & Entertainment

Inter BEE 2025

11.19 水 ▶ 21 金 幕張メッセ

www.inter-bee.com

#interbee2025

